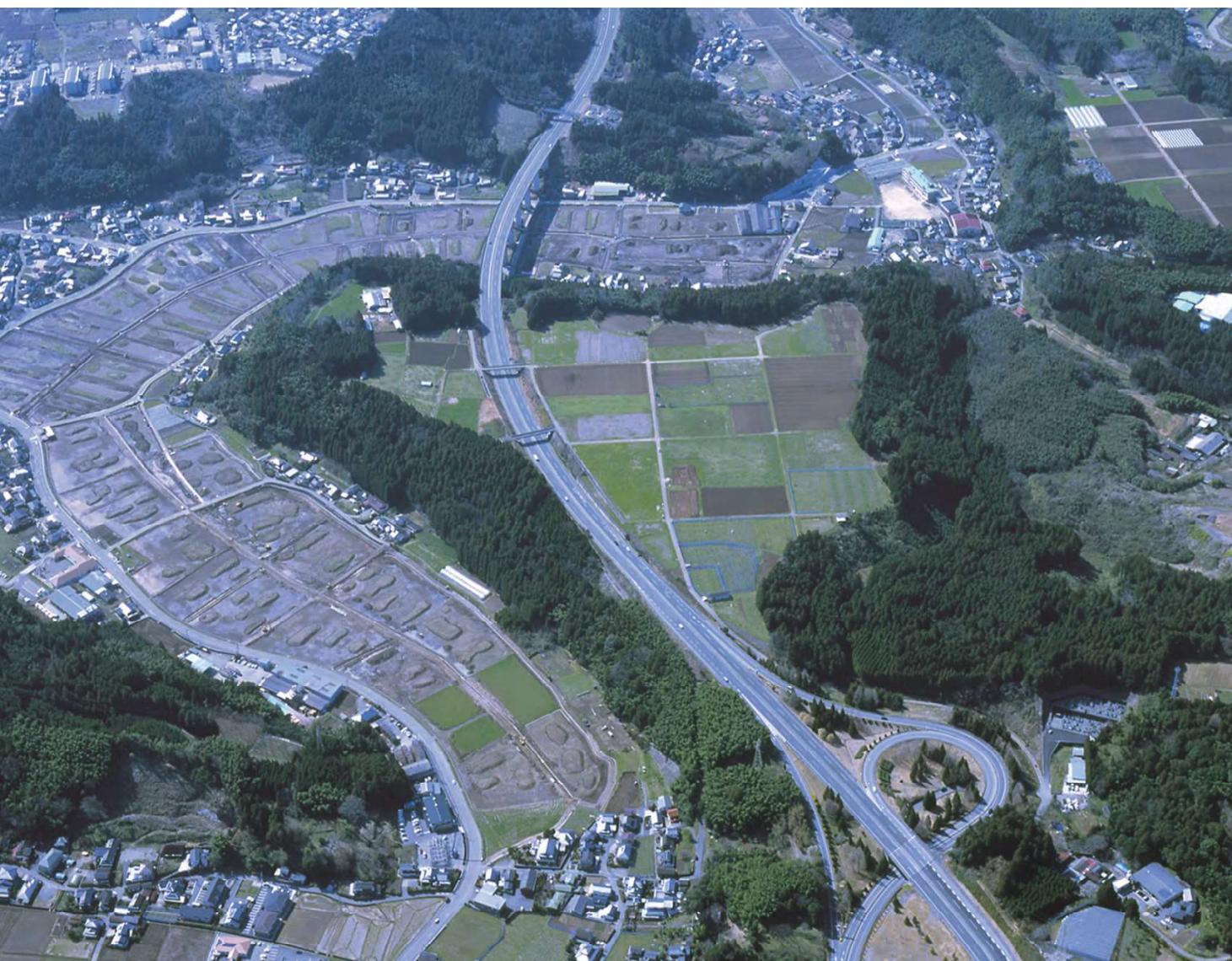


平成
24
年度

日田市埋蔵文化財年報

平成24年度（2012年度）

日田市埋蔵文化財年報



日田市教育委員会

2013 日田市教育委員会

発刊にあたって

平成 24 年度も日田市内では、民間開発・公共事業を含め各所で埋蔵文化財調査が行われ、郷土の歴史に新しい発見がもたらされました。

重要遺跡の確認調査として、県の史跡指定に向けた永山城跡の調査が平成 23 年度より引き続き行われ、小迫辻原遺跡では保存整備に向けた基礎的なデータを得る為の調査が開始されました。

また、城下町遺跡では建物基礎が発見され、規模などから廣瀬淡窓が最初に塾を開いたといわれる長福寺学寮跡と推測されました。そして、昨年度は国の史跡である「廣瀬淡窓墓」に旧宅が加えられ、『廣瀬淡窓旧宅及び墓』として追加指定を受けました。

最後になりましたが、この 1 年間日田市の埋蔵文化財調査及び普及・啓発に多大なるご指導・ご協力を賜りました関係者の皆様方に心よりお礼を申し上げます。

平成 25 年 7 月

日田市教育庁文化財保護課課長 財津 俊一

例 言

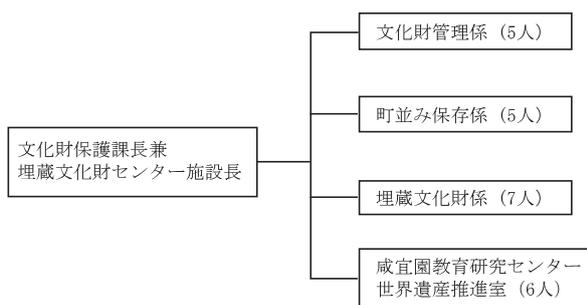
1. 本書は、平成 24 年度に日田市教育委員会が行った埋蔵文化財保護事業の概要をまとめたものである。
2. 発掘調査における遺物・図面・写真類等の資料については、日田市埋蔵文化財センターに保管・展示している。
3. 表紙写真は小迫辻原遺跡調査の空中写真（本文 9P 参照）、裏表紙は城下町遺跡 2 次調査の出土遺物である（本文 15P 参照）。
4. 本書の執筆は I - (1) を行時、I - (2)、II を各担当、III - (1)、(2) を武内貴彦（H25 年普及啓発担当）、III - (3) を土居、III - (4)、(5) を渡邊が行った。II には文責を末尾に記している。
5. 編集は、各担当の協力の下、上原が行った。

《埋蔵文化財係》

- 埋蔵文化財係長 土居 和幸 総括
主 査 華藤 善紹 史跡整備担当
主 査 井上 和泉 普及啓発事業担当
主 査 行時 桂子 民間開発事業・事前審査担当
主 査 若杉 竜太 公共事業担当
主 査 渡邊 隆行 史跡整備事業・保存修理事業担当
主 事 上原 翔平 埋蔵文化財補助事業担当

組 織

平成 24 年度の日田市教育庁文化財保護課の構成及び埋蔵文化財係の組織は以下の通りである。（平成 25 年 3 月現在）



目 次

発刊にあたって	III 平成 24 年度の埋蔵文化財普及・啓発事業
I 平成 24 年度の埋蔵文化財調査事業……………1	(1) 埋蔵文化財センター運営事業 ……………24
(1) 平成 24 年度の埋蔵文化財調査の概要 ……1	(2) 普及啓発事業 ……………25
(2) 発掘調査・確認調査の概要 ……………7	(3) 文化財の指定 ……………28
II 災害復旧に伴う測量調査 ……………24	(4) 埋蔵文化財の保存修理 ……………29
	(5) その他（資料掲載・貸出・閲覧・受領図書）…30

表1 埋蔵文化財の調査件数と調査面積の推移

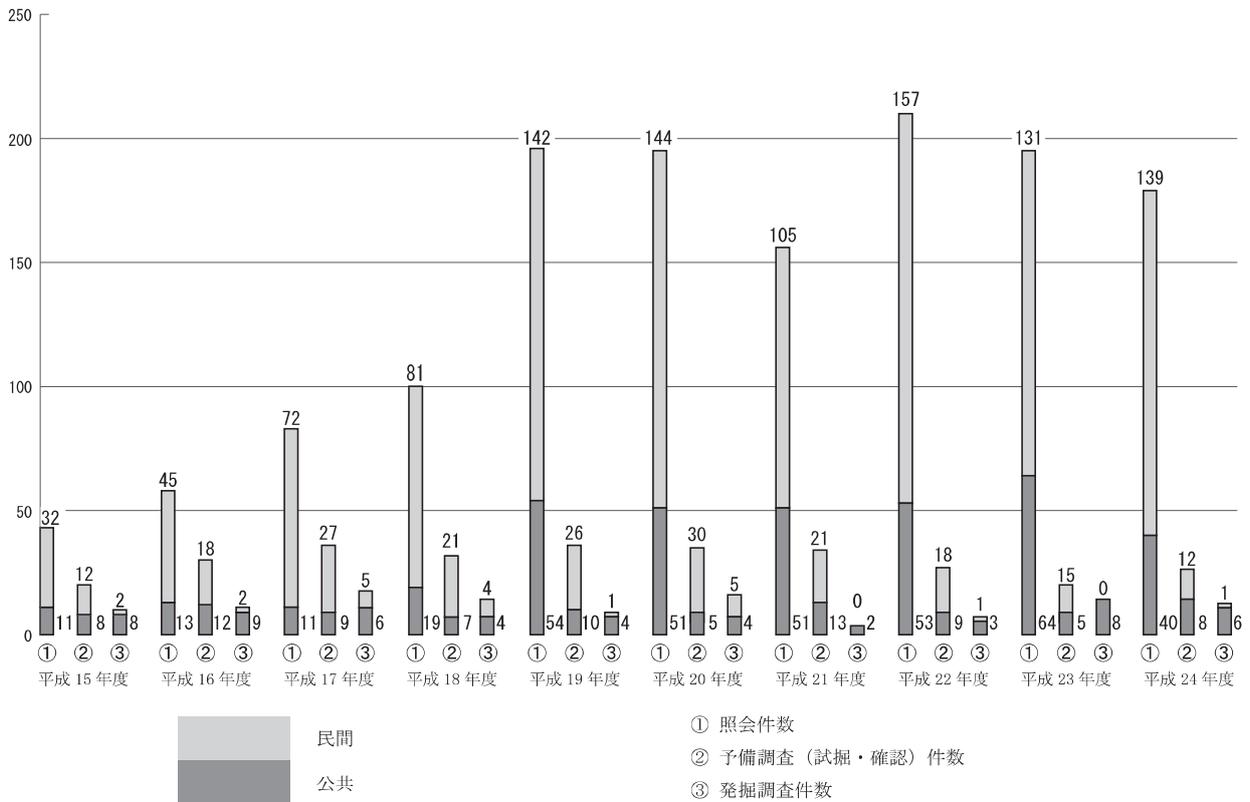
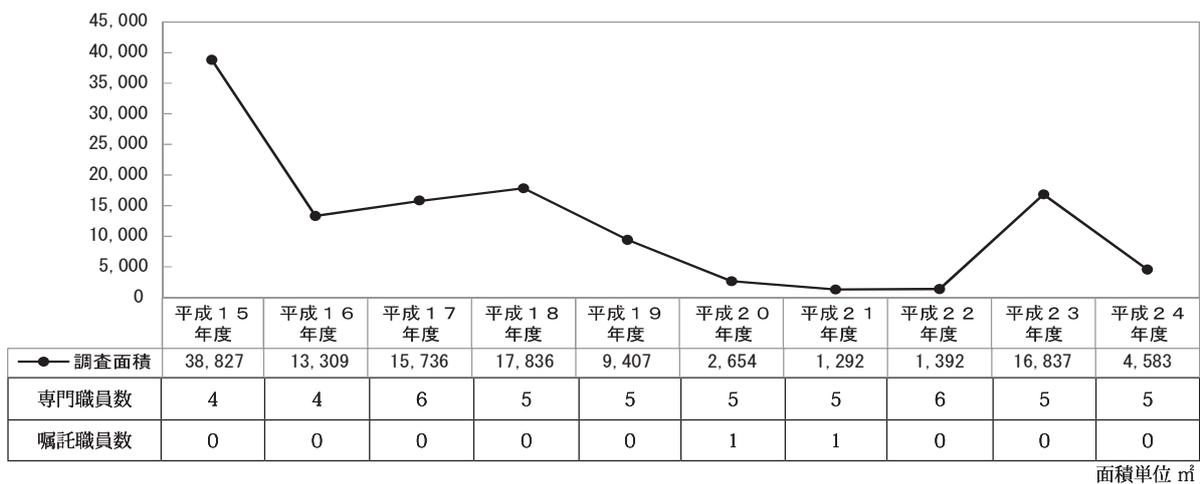


表2 調査面積・調査担当者推移



	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
● 調査面積	38,827	13,309	15,736	17,836	9,407	2,654	1,292	1,392	16,837	4,583
専門職員数	4	4	6	5	5	5	5	6	5	5
嘱託職員数	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0

面積単位 m²

表3 平成24年度発掘調査一覧表

面積単位：㎡

番号	調査名	所在地	事業主体	調査原因	開発面積	調査面積	調査年月日	費用負担	調査担当者	備考
1	小迫辻原遺跡 G6区・L3・4区	大字小迫字辻原・辻原免	公共	遺跡内容確認	—	878	1003～1108、0225～0321	国庫	渡邊	
2	永山城跡 3次	丸山2丁目	公共	遺跡内容確認	—	199	0726～1028	国庫	若杉	
3	鍛冶屋廻り遺跡 2次	大字小迫字長ヶ坪	公共	圃場整備	213,303	560	0723～0824	原因者	上原	
4	本村遺跡 5次	大字小迫字堂ノ本ほか	公共	圃場整備	213,303	2,498	0822～1121	原因者	上原	
5	城下町遺跡 2次	大字豆田 123-1	公共	防災施設建設	1,095	300	1031～0123	原因者	若杉	
6	慈眼山遺跡 10次	上城内町 1036-1	公共	放課後児童クラブ建設	105	80	0925～1026	原因者	若杉	
7	慈眼山遺跡 9次	上城内町 1032番2	民間	宅地等造成	524	68	0413～0418	国庫	渡邊・上原	

表4 平成24年度確認・立会調査一覧

面積単位：㎡

番号	遺跡名	区分	調査場所	事業目的	開発面積	調査面積	調査期間	調査区分	時代	遺構	遺物	申請番号	調査担当者	処置
8	日田条里	民間	大字西有田字五反田53番2	分譲宅地造成	1,322	40	0822	確認	古墳・中世	遺物包含層	土師器・白磁・瓦器	2012038	渡邊	工事実施
9	城下町	民間	豆田町 5-13	旧園舎修理	135.8	135.8	1005～1024	確認	近世・近代	建物跡	瓦・陶磁器等	2012088	土居・若杉	埋土保存等
10	ガランドヤ古墳 3号墳	公共	大字石井 1181-2 地先	下水道管渠布設	853	39	1121～1214	確認	古墳	古墳	須恵器・土師器	2011626	渡邊	埋土保存等
11	長者原	公共	大字内河野	下水道管渠布設	252	12	1217～1218	確認	古墳	石棺墓 2基	—	2012608	渡邊・若杉	埋土保存等
12	史跡咸宜園跡	公共	淡志 2丁目	史跡整備（園路・排水路整備）	957	118	0115～0225	立会	近世	ビット・柱穴・溝状遺構	—	—	渡邊・土居	工事実施
13	慈眼山	民間	城町 2丁目 928番地 4	分譲宅地造成	1,694.05	53	0524～0525	確認	中世	整地層	土師質土器・白磁・青磁・陶器	2012022	行時	発掘調査
14	高瀬条里	公共	大字高瀬 781-2	屋内運動場改築	739.38	24	0606	確認	—	—	—	2011615	若杉	工事実施
15	—	民間	大字小野字神田 1193番地 1	携帯電話無線基地局建設	70	9	0731	試掘	—	—	—	2012012	行時	工事実施
16	日田条里	民間	田島 1丁目 467番 8	アパート建設	343.33	7	0807	確認	—	—	—	2012047	若杉	工事実施
17	慈眼山	公共	上城内町 1036-1	放課後児童クラブ新築	105	27	0830	確認	中世	土坑・ビット	土師質土器・陶磁器等	2012606	若杉	発掘調査
18	慈眼山	民間	城町 2丁目 590-4	個人住宅建設	232	11	1024	確認	中世	整地層？	土師器・青磁	2012066	渡邊	工事実施
19	土ヶ迫	民間	天瀬町五馬市字ニツエ 513ほか	特別高圧送電線路新設	600	14	1113	確認	—	—	—	2012070③	行時	工事実施
20	—	民間	上津江町川原字クレコノ 4758番地 1	携帯電話無線基地局建設	130	8	1121	立会	—	—	—	2012021	行時	工事実施
21	出口	公共	天瀬町出口地内	圃場整備	31,016	334	1128～1213	確認	縄文・近世	ビット・土坑・遺物包含層	縄文土器・陶磁器	2010901	上原	一部発掘調査
22	慈眼山	民間	城町 2丁目 853番 23	倉庫・貸家建設	831.65	38	1206～1207	確認	古代～中世	ビット・遺物包含層	土師質土器・土師器・青磁・白磁・青白磁・須恵器ほか	2012097	行時	工事実施
23	日田条里	民間	中城町 101、102-1、102-2	自動車庫増築	168.54	2	1213	立会	—	—	—	2012104	行時	工事実施
24	中大山	公共	大山町西大山 3165-1	校舎等新增改築	2,965	51	1219	確認	—	—	—	2012612	若杉	工事実施
25	元宮	民間	大字求来里字元宮 398ほか	駐車場用地造成	2,990	196	1227	確認	—	—	—	2012110	行時	工事実施
26	郷四郎	民間	大字十二町字郷四郎 460番地 1	店舗建設	817	18	0212	立会	—	—	—	2012116	行時	工事実施
27	君迫	公共	大字二串地内	圃場整備	76,000	210	0311～0315	確認・試掘	中世	溝・土坑・ビット	土師質土器	2011901	若杉	一部発掘調査

表5 災害復旧測量調査表

面積単位：㎡

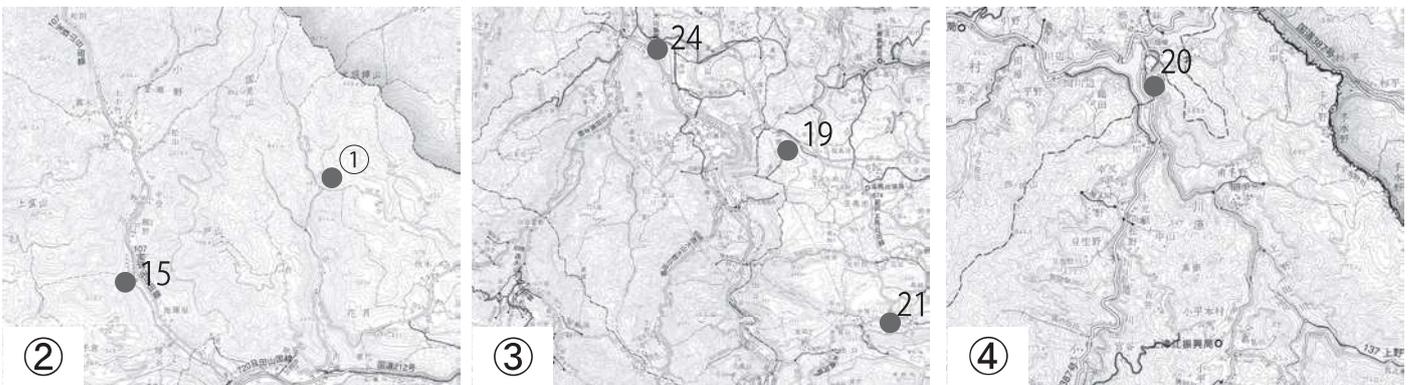
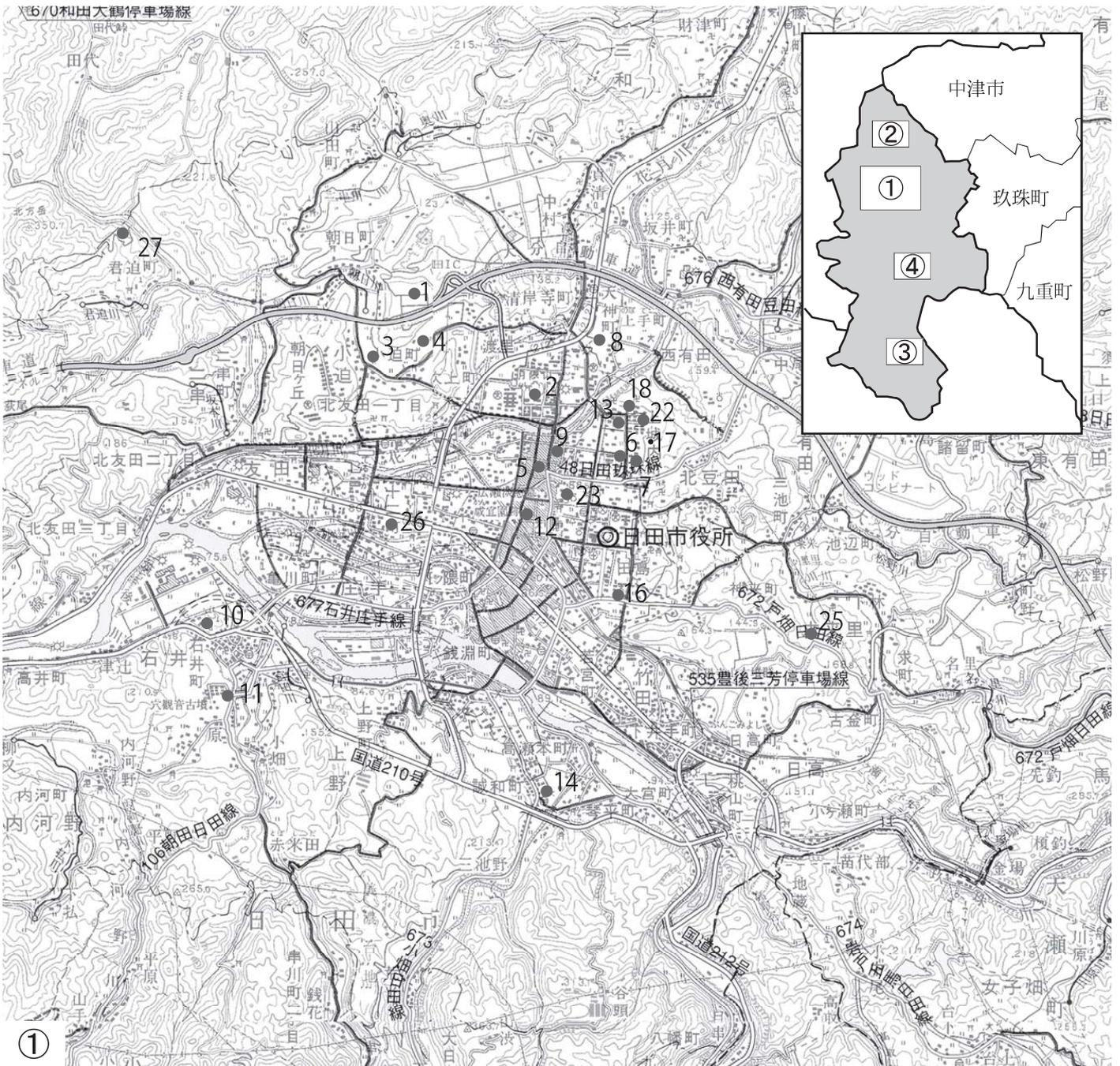
番号	調査名	所在地	事業主体	調査原因	開発面積	調査面積	調査年月日	費用負担	調査担当者	備考
①	石坂石畳道	大字花月	公共	災害復旧	—	30	0125～0203	—	若杉	

表 6 照会一覧表

申請日	申請番号	事業主体	申請内容	対象地	開発面積	遺跡名	判断結果
3/30	2012001	民間	駐車場造成	大字西有田字上手 53 番 1、55 番 1	2,183.2	日田条里	工事实施
4/2	2012004	民間	店舗建設	大字三和字大坪 2483 番 2 ほか 9 筆	2,058.27		工事实施
4/2	2012008	民間	携帯電話無線基地局建設	中津江村合瀬 3241 番地 9	130		工事实施
4/2	2012009	民間	携帯電話無線基地局建設	天瀬町出口字井川 3813 番地 2	130	井川	要予備調査(→計西中止)
4/2	2012010	民間	携帯電話無線基地局建設	大字日高字小ヶ瀬 2777 番地 1	70	小ヶ瀬	工事实施
4/2	2012011	民間	携帯電話無線基地局建設	大字庄手字大釣 685 番地 57	70		工事实施
4/2	2012012	民間	携帯電話無線基地局建設	大字小野字神田 1193 番地 1	70	天然記念物 小野川の阿蘇 4 火砕流遺跡物及 び埋没樹木群	H 24 予備調査
4/2	2012013	民間	携帯電話無線基地局建設	上津江町上野田字ヒロソノミ 1081 番地 3	70		工事实施
4/2	2012014	民間	携帯電話無線基地局建設	上津江町上野田字草切平 498 番地	70		工事实施
4/2	2012015	民間	携帯電話無線基地局建設	大山町西大山字尾ノ上 111 番地 2	130		工事实施
4/2	2012016	民間	携帯電話無線基地局建設	大字日高字塚原 1034 番地 1	70		工事实施
4/2	2012017	民間	携帯電話無線基地局建設	上城内町 1190 番地 1	70	大波羅	要予備調査(→計西中止)
4/2	2012018	民間	携帯電話無線基地局建設	大字日高字古金 1782 番地 25	70	秣手	工事实施
4/2	2012019	民間	携帯電話無線基地局建設	前津江町柚木字原 1621 番地	70		工事实施
4/2	2012020	民間	携帯電話無線基地局建設	中津江村柳野字岩屋ノ前 5156 番地 1	130		工事实施
4/2	2012021	民間	携帯電話無線基地局建設	上津江町川原字クレコノ 4758 番地 1	130	(遺跡外)	H 24 立会調査
4/3	2012002	民間	集合住宅建設	大字庄手字徳瀬 923-1、924、925 の一部	891.63		工事实施
4/4	2012003	民間	倉庫建設	大字友田字荻鶴 887-1、887-6、886-5	192.76		工事实施
4/4	2012005	民間	倉庫建設	大字求来里字長者原 1011 番 1	80		工事实施
4/5	2012006	民間	無線基地局建設	天瀬町合田字下ノ釣 2053 番 1	2.25		工事实施
4/12	2012022	民間	分譲宅地造成	城町 2 丁目 928 番地 1、928 番地 4、930 番地	1,694.05	慈眼山	H 24 予備調査
4/20	2012007	民間	個人住宅建設	吹上町 1182-16	104	日田条里	工事实施
4/26	2012601	公共	防火水槽設置	大山町西大山 5849-1	25.2	鎌手	工事实施
4/26	2012602	公共	防火水槽設置	大字大肥 551、552-2	25.2	大肥吉竹	工事实施
4/26	2012603	公共	防火水槽設置	大字小野 3419-1	25.2		工事实施
4/27	2012023	民間	携帯電話無線基地局設置	吹上町 1128 番 1	4	日田条里	工事实施
4/27	2012024	民間	個人住宅建設	港町 456-22	125	日田条里・城下町	工事实施
5/7	2012025	民間	分譲宅地造成	大字渡里字郷ノ坪 1020-20、1021-1、1021-3、1022-4	2,447.79		工事实施
5/10	2012026	民間	集合住宅建設	大字三和字五反田 2861、2860 番地 1	405.71	龍林寺	工事实施
5/11	2012027	民間	車庫建設	下井手町 26 番 1	35.41	上井手	工事实施
5/11	2012028	民間	個人住宅建設	大字庄手字笠田 276-5、276-6	136.70		工事实施
5/16	2012029	民間	事務所建設	大字渡里字神町 1137 番地 1	45.54		工事实施
5/23	2012030	民間	個人住宅建設	中城町 3-6	148.01	日田条里・城下町	工事实施
5/23	2012031	民間	足湯設置工事	大字庄手 635 番地の 1 ほか 49 筆	14.08		工事实施
5/23	2012032	民間	暗渠排水敷設	大字日高字東寺 1550 番 1	20	日高遺跡	工事实施
5/24	2012033	民間	分譲宅地造成	大字三和字吉ノ後 767 番 1、767 番 4	1,280		工事实施
6/5	2012034	民間	用地造成	大字渡里 1017 番 1、1017 番 3	2,136		工事实施
6/5	2012035	民間	無線基地局建設	天瀬町合田字下ノ釣 1986 番 3	2.25		工事实施
6/6	2012036	民間	個人住宅建設	大字内河野字山中 1783 番 1、1785 番 1、1787 番の一部	889.22		工事实施
6/6	2012604	公共	特殊地下壕埋戻	大字求来里 1313 ほか			工事实施
6/11	2012037	民間	個人住宅建設	大字渡里字郷ノ坪 1020 番地 7	195.13		工事实施
6/11	2012039	民間	個人住宅建設	大字日高字鬼竹 971 番 5、972 番 7、972 番 11	204.91	上井手	工事实施
6/12	2012038	民間	分譲宅地造成	大字西有田字五反田 58 番 2	1,322	日田条里	H 24 予備調査
6/15	2012040	民間	個人住宅建設	大字高瀬字シテ 391 番 1	790.39	高瀬条里	工事实施
6/20	2012041	民間	畜舎建設	大字有田字川江原 1940 番地 2	1,825		工事实施
6/21	2012042	民間	資材置場建設	大字三和字谷ノ久保 1960 番 2 ほか 1 筆	2,256		工事实施
6/26	2012043	民間	病院建設	天瀬町合田字神ノ釣 3118-2 ほか 15 筆	5,546		工事实施
6/26	2012044	民間	駐車場造成	大字高瀬字梅ノ木 2296-6、2296-7、2296-8、2296-1 の一部	2,353.62		工事实施
6/26	2012045	民間	個人住宅建設	大字友田字寺ノ前 1360 番 5	219.25		工事实施
6/27	2012046	民間	個人住宅建設	大字友田字寺ノ前 1360 番 6	220.15		工事实施
6/28	2012047	民間	アパート建設	田島 1 丁目 467 番 8	343.33	日田条里	H 24 予備調査
6/28	2012048	民間	個人住宅建設	中城町 8-24	367.09	城下町	工事实施
6/28	2012049	民間	資材置場造成	大字石井字若宮 643 番 3 ほか 6 筆	4,668		工事实施
7/2	2012050	民間	個人住宅建設	大字高瀬字徳行 728 番 3	309.92		工事实施
7/3	2012051	民間	店舗建設	大字竹田 416-1、416-13、416-14、417-7	310.13		工事实施
7/10	2012052	民間	携帯電話無線基地局建設	大字有田字小迫 640 番 1	136.76		工事实施
7/10	2012053	民間	携帯電話無線基地局建設	大字二串字長迫 1334 番 10	6		工事实施
7/10	2012054	民間	携帯電話無線基地局建設	吹上町 1297 番 1	82	日田条里	工事实施
7/10	2012055	民間	携帯電話無線基地局建設	天瀬町女子畑字御霊 2354 番	136.76		工事实施
7/10	2012056	民間	携帯電話無線基地局建設	大字北豆田字御料原 800 番 2	82	佐寺原	工事实施
7/10	2012057	民間	携帯電話無線基地局建設	大字二串字東原 35 番	68.25	朝日ヶ丘	翌年度以降予備調査
7/10	2012058	民間	携帯電話無線基地局建設	天瀬町出口字中園 1939 番	68.25	中園	工事实施
7/11	2012605	公共	災害復旧	丸山 2 丁目	75	永山城跡・月隈横穴群	工事实施
7/19	2012059	民間	個人住宅建設	大字渡里字桑ノ元 996 番 3、997 番 1	312		工事实施

申請日	申請番号	事業主体	申請内容	対象地	開発面積	遺跡名	判断結果
7/31	2012060	民間	福祉施設建設	石井町3丁目631-9	627.59		工事実施
8/6	2012061	民間	公民館建設	大字日高字上井手1428-2	144.02		工事実施
8/9	2012062	民間	分譲宅地造成	港町446番地1ほか	1.635	日田条里	工事実施
8/10	2012606	公共	放課後児童クラブ新築	上城内町1036-1	466	慈眼山	H24 予備調査
8/10	2012607	公共	放課後児童クラブ新築	大字大肥1701	113	大肥	工事実施
8/16	2012063	民間	携帯基地局設置	中城町1-1	0.5		工事実施
8/17	2012064	民間	個人住宅建設	隈1丁目229番地	257.15	城下町	工事実施
8/20	2012065	民間	店舗建設	大字十二町字浄明寺1-15、1-20番地	1.474		工事実施
8/27	2012066	民間	個人住宅建設	城町2丁目590-4	232	慈眼山	H24 予備調査
8/28	2012067	民間	携帯電話中継基地局建設	大字十二町字前田554番地2	4	日田条里	工事実施
8/30	2012068	民間	アパート建設	大字十二町字花ノ木524番2、524番11	1,363.52	日田条里	工事実施
9/4	2012069	民間	分譲宅地造成	城町1丁目420番1	808		工事実施
9/4	2012070①	民間	特別高圧送電線路新設	天瀬町五馬市300番地ほか	1.125	八本木	工事実施
9/4	2012070②	民間	特別高圧送電線路新設	天瀬町五馬市300番地ほか	1.125	八本木	工事実施
9/4	2012070③	民間	特別高圧送電線路新設	天瀬町五馬市	1.125	土ヶ迫	H24 予備調査
9/4	2012070④	民間	特別高圧送電線路新設	天瀬町五馬市	1.125		工事実施
9/10	2012071	民間	個人住宅建設	大字渡里字水町1491-14番地	170.92	日田条里	工事実施
9/11	2012072	民間	個人住宅建設	大字二串字君尻208番11、字八反ヶ坪242番3	276.88		工事実施
9/11	2012073	民間	携帯電話基地局設置	大字日高字牧原2432-3	0.5	大部	工事実施
9/11	2012074	民間	携帯電話基地局設置	大字田島753番地の5	0.5	会所宮	工事実施
9/11	2012075	民間	携帯電話基地局設置	大字十二町475	0.5	郷四郎	工事実施
9/11	2012076	民間	駐車場カーポート設置	大字三和字石ヶ坪2784番1、2785番1	-	塚原	工事実施
9/13	2012077	民間	貯木場造成	大字小山字杉ノ迫150-1ほか6筆	4.070		工事実施
9/13	2012078	民間	個人住宅建設	大字十二町字前田545-6、545-7、545-8の一部	167.5	日田条里	工事実施
9/13	2012079	民間	個人住宅建設	大字北豆田1671-44	86.92	湯尻	工事実施
9/14	2012080	民間	個人住宅建設	大字西有田字桑ノ木243-1	450.8		工事実施
9/18	2012081	民間	福祉施設建設	大字十二町502-11他、大字友田12-2他	994.83		工事実施
9/24	2012082	民間	発電所建設	天瀬町五馬市		八本木	工事実施
9/24	2012083	民間	社会福祉施設建設	大字大肥字居尻2267-1、2267-2、2267-3	329.99		工事実施
10/1	2012609	公共	放課後児童クラブ新築	天瀬町五馬市2040	142		工事実施
10/2	2012084	民間	発電所建設	大字日高字小ヶ瀬2777-1ほか4筆	26,000	小ヶ瀬	工事実施
10/3	2012085	民間	PHS 携帯基地局建設	大字渡里1153番地の3	0.081		工事実施
10/3	2012086	民間	PHS 携帯基地局建設	大字庄字宇川原980番地1号	0.081	村前	工事実施
10/3	2012087	民間	PHS 携帯基地局建設	大字高瀬237番地の5	0.081	銭淵	工事実施
10/3	2012088	民間	旧園舎修理	豆田町5-13	135.8	城下町	埋土保存等
10/9	2012089	民間	個人住宅建設	田島2丁目240番地21	207.51	日田条里	工事実施
10/11	2012090	民間	PHS 携帯基地局建設	若宮町408-1	0.081	柳ノ本	工事実施
10/15	2012091	民間	車庫増築	大字北豆田字湯尻1641番8	22.79	湯尻	工事実施
10/18	2012608	公共	下水道本管布設	大字内河野41地先～大字小山191-5地先	251.60	長者原	H24 予備調査
10/18	2012610	公共	下水道本管布設	大字求来里96-17地先～大字北豆田1733-46地先			工事実施
10/22	2012092	民間	個人住宅建設	大字小迫字花ノ木5-3-1(土地改良一時利用地番)	572.86	花ノ木	工事実施
10/22	2012093	民間	個人住宅増築	三本松1丁目9-1の一部、10-4	11.75		工事実施
10/23	2012094	民間	個人住宅建設	大字十二町字馬場103番1	525.40		工事実施
10/23	2012095	民間	農業施設建設	大字東有田字川江原1940-2ほか7筆	800		工事実施
11/1	2012096	民間	分譲宅地造成	大字友田字三郎丸2101番1、2101番5、2103番1、2104番4、2104番5	2,574.47		工事実施
11/1	2012618	公共	下水道本管布設	大字花月・小野			工事実施
11/1	2012619	公共	下水道本管布設	大字西有田		日田条里	工事実施
11/1	2012620	公共	下水道本管布設	大字小迫		尾部田	工事実施
11/1	2012621	公共	下水道本管布設	大字石井		尾園・長者原	H24 予備調査
11/1	2012622	公共	下水道本管布設	城町2丁目		慈眼山	工事実施
11/1	2012623	公共	下水道本管布設	大字北豆田			工事実施
11/5	2012611	公共	校舎等新增改築	天瀬町馬原			工事実施
11/5	2012612	公共	校舎等新增改築	大山町西大山		中大山	H24 予備調査
11/5	2012613	公共	屋内運動場新增改築	大字東有田		平島	次年度以降予備調査
11/5	2012614	公共	屋内運動場新增改築	下井手町		上井手	次年度以降予備調査
11/6	2012097	民間	倉庫・貸家建設	城町2丁目853番23	831.65	慈眼山	H24 予備調査
11/6	2012615	公共	都市計画道路改築	中城町・淡窓1丁目		日田条里	次年度以降予備調査
11/6	2012616	公共	公園整備	大山町西大山1595-1ほか	13ha		工事実施
11/6	2012617	公共	スポーツ公園整備	大山町西大山2154ほか	1.2ha		工事実施
11/7	2012098	民間	アパート建設	三本松2丁目66-1	703.90		工事実施
11/8	2012624	公共	消防コミュニティセンター建設	天瀬町女子畑	60		工事実施
11/9	2012099	民間	個人住宅建設	大字友田字上友田1101-3ほか3筆	135.71		工事実施
11/9	2012625	公共	携帯電話不感地区解消	前津江町柚木			工事実施
11/9	2012626	公共	市道改良	大山町東大山	640	小五馬	工事実施
11/9	2012627	公共	市道改良	大字西有田	1,200		工事実施
11/9	2012628	公共	市道改良	大字西有田	565		工事実施
11/9	2012629	公共	市道改良	大字十二町	1,578	日田条里	工事実施
11/9	2012630	公共	市道改良	大字三和		後迫	工事実施
11/9	2012631	公共	市道改良	上津江町川原			工事実施
11/9	2012632	公共	市道改良	大字内河野			工事実施

申請日	申請番号	事業主体	申請内容	対象地	開発面積	遺跡名	判断結果
11/9	2012633	公共	市道改良	天瀬町塚田		西	詳細未決定
11/9	2012634	公共	市道改良	天瀬町本城		宇土・宮ノ原・天神ノ木	詳細未決定
11/12	2012100	民間	農業資材置場造成	大字友田字丸ノ内 1841 番 1 ほか 6 筆	1,303.39		工事实施
11/12	2012636	公共	放課後児童クラブ新築	大字東有田		平島	詳細未決定
11/12	2012637	公共	放課後児童クラブ新築	中津江村栃野			工事实施
11/13	2012635	公共	市営住宅建替	大字北豆田	2,368	湯尻	工事实施
11/14	2012101	民間	アパート建設	大字庄手字笠田 327-1、327-2	800.47	徳瀬	工事实施
11/14	2012102	民間	アパート建設	大字庄手字笠田 327-4 ほか 4 筆	1,724.56	徳瀬	工事实施
11/14	2012901	公共	圃場整備	天瀬町出口	100,000	出口	次年度以降予備調査
11/14	2012902	公共	用水管改修	大字求来里	L = 15,000 m	元宮	次年度以降予備調査
11/20	2012103	民間	個人住宅建設	港町 501-7	227.59	一丁田	工事实施
11/21	2012104	民間	自動車庫増築	中城町 101、102-1、102-2	168.54	日田条里	H 24 立会調査
11/22	2012105	民間	個人住宅建設	大字北豆田 92 番地	221.13	城下町	工事实施
11/22	2012106	民間	園舎建設	大字日高字岩崎 585 番地	1.625	上井手	工事实施
11/26	2012107	民間	老人福祉施設建設	大字友田字大縄手 12-2	992.09		工事实施
11/27	2012108	民間	個人住宅建設	丸山 2 丁目 84-4	240.50	城下町	工事实施
11/30	2012109	民間	商業店舗建設	大字庄手 635-1 ほか 49 筆	133		工事实施
12/4	2012110	民間	駐車場用地造成	大字求来里字元宮 398 番、399 番 1、400 番 1 の一部	2,990	元宮	H 24 予備調査
12/10	2012111	民間	個人住宅建設	大字求来里字堂園 570-1、1007-7	192.36	元宮	工事实施
12/11	2012112	民間	倉庫建設	大字小迫 14-6	199.45	本村	要予備調査(→工法変更)
12/12	2012113	民間	個人住宅建設	大字上野字切畑 60-12	194.54		工事实施
12/17	2012114	民間	店舗増築	若宮町 420 番地 1	1,922.59		工事实施
12/21	2012115	民間	個人住宅建設	淡窓 2 丁目 285 番 10	175.68	日田条里	工事实施
1/21	2012638	公共	消防施設設置	豆田町 52 地先	1.644	城下町	工事实施
1/22	2012112 ②	民間	倉庫建設	大字小迫 14-6	199.45	本村	工事实施
1/22	2012116	民間	店舗建設	大字十二町字郷四郎 460 番地 1	817	郷四郎	H 24 立会調査
1/25	2012117	民間	個人住宅建設	港町 501-5	190.87	一丁田	工事实施
1/25	2012118	民間	分譲宅地造成	大字三和字西ノ更 2655 番 1	1,738	三和教田	工事实施
1/29	2012119	民間	仮設園舎建設	城町 1 丁目 334-1、335-1、336-2	180.36	日田条里	工事实施
1/31	2012120	民間	デイサービス建設	中本町 910-1、922-1	275.42	城下町	工事实施
2/1	2012121	民間	個人住宅建設	城町 1 丁目 274 番 11	193.56	日田条里	工事实施
2/5	2012122	民間	太陽光発電施設設置	大字小迫字浄光院 1156 ほか 3 筆	1,477	本村	工事实施
2/6	2012123	民間	倉庫建設	城町 2 丁目 853 番 23	354.96	慈眼山	工事实施
2/13	2012124	民間	個人住宅建設	大字十二町字堀 319 番 4	207.98	日田条里	工事实施
2/14	2012125	民間	駐車場造成	大字友田字荻鶴 1012 番 1	1,347	荻鶴	工事实施
2/15	2012126	民間	個人住宅建設	港町 448 番 4	211.98	日田条里	工事实施
2/18	2012127	民間	老人ホーム建設	大字渡里字熊取 121-1 ほか 15 筆	2,650		工事实施
2/21	2012128	民間	店舗兼住宅建設	上城内町 1199-1 番地	69.77	大波羅	工事实施
2/27	2012129	民間	個人住宅建設	淡窓 2 丁目 754 番 9	336.09	瀧ヶ本	工事实施
2/28	2012130	民間	園舎建設	城町 1 丁目 415-7	808.84	日田条里	工事实施
3/4	2012131	民間	分譲宅地造成	大字十二町字花ノ木 535 番 1、536 番 1、536 番 4	2,922.89	郷四郎	工事实施
3/4	2012132	民間	店舗兼住宅増築	田島 2 丁目 291-1、292-1	21.36	日田条里	工事实施
3/8	2012133	民間	個人住宅建設	大字石井字立石 274 番 18	120.89		工事实施
3/21	2012134	民間	土捨場	大字渡里字池ノ追 674 ほか 8 筆	-		工事实施
3/27	2012135	民間	広告塔設置	大字十二町 460-1	0.28	郷四郎	工事实施



平成24年度 発掘調査位置図 (1/25,000) 下部の別図は1/50,000 図中の番号は表3~5に対応する。

(2) 発掘調査・確認調査の概要

小迫辻原遺跡は日田盆地北部の通称辻原と呼ばれる台地上に位置している。弥生時代後期後半から古墳時代前期前半頃の3つの環濠集落や2条の南北溝、3基の方形環濠建物などの遺構が確認されており、弥生時代から古墳時代への変換期に有力者のための環濠集落と、その中から発展した祭祀色の濃い施設が出現し、変化していく過程が理解できる貴重な遺跡と評価され、平成8年には約8.2haが国史跡に指定されている。保存管理計画に基づき、広大な敷地の公有化を測っており、この公有化完了地より随時、整備の基礎的なデータを得るための発掘調査を実施する計画で、平成24年度はこの発掘調査の初年度にあたる。

G6区は当初の調査計画にはなかったが、史跡境界際斜面の一部で公有化に伴う伐採作業路を確保する際、表土が薄い箇所では地山等の露出が見られたことから、急遽4本のトレンチを設定して、史跡の内容を確認する発掘調査を実施した。1・2トレンチでは近現代の畑地造成層が1.5m程の厚さで堆積し、旧表土・2次堆積層(6層)を挟んだ下部に明褐色ローム土の地山を削り出し、斜面側に短いテラスを持つ溝状の遺構が認められた。溝本体は3、40cm程と浅いが、斜面の削り出し部と併せると1.6~8m程の深さ、幅1.5m程、テラスは1mの幅を持つ。この溝はある段階で埋め戻して幅2m程のテラス状に整地(1トレ12層、2トレ11層)され、上部で焼土(11層)が大量に確認された。窓付土器や高坏などが見られることから、何らかの祭祀行為と考えておきたい。出土遺物は大量であるが、1トレンチの8・9・11層から出土した遺物の一部を掲載した。1・2は甕、3は窓付土器甕、4・5は壺、6・7は小型丸底鉢、8は鉢、9は高坏、10は鼓形器台である。なお、溝本体からの出土遺物は殆ど見られなかった。3・4トレンチは近現代層の堆積は薄く、一部遺構埋土が露出していたが、遺跡保全と安全を考慮して完掘は行っていない。出土遺物から小迫辻原遺跡のⅢ期相当と考えられるが、調査範囲が限られ、詳細な性格等は不明である。同時期の3号環濠などの関係が今後の課題と言える。

L3・4区一带は、過去の調査では古墳時代の遺構の分布密度が低く、方形環濠建物とセットとなる条溝に区切られた特殊な空間と予測されてきた。しかし、作物等によって広範囲の調査が不可能であったことから、今回公有化に伴い面的な調査を実施した。両地区併せて865㎡に及ぶ調査範囲は、天地返しによる攪乱が著しいものの、確認された遺構の殆どは古代~中世の所産のもので、古墳時代の遺構は過去L1区調査で確認された1号竪穴建物のみであり、当初の期待通りの成果を得ることが出来た。このように、本年度の調査では貴重な成果が得られたが、詳細部分については不明なものが多く、今後も引き続き過去の調査区との整合を図りつつ、確認調査を継続する必要があるものと考えられる。(渡邊)

※ 時期比定については福岡市教委久住猛雄氏にご教授いただいた。



調査区位置図 (1/10,000)



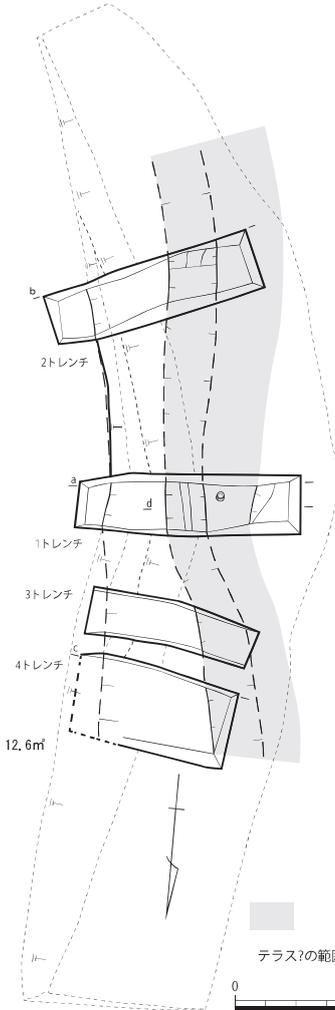
G6区トレンチ全景



1トレンチ完掘状況



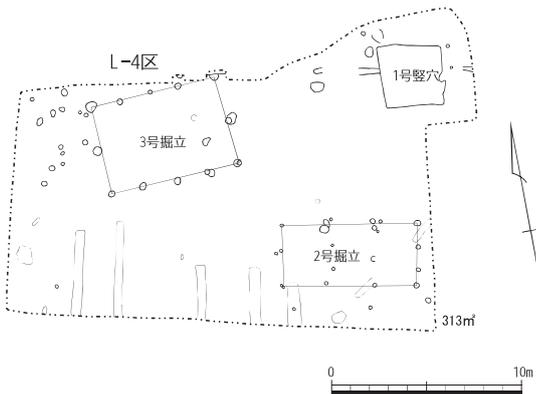
L3・4区全景



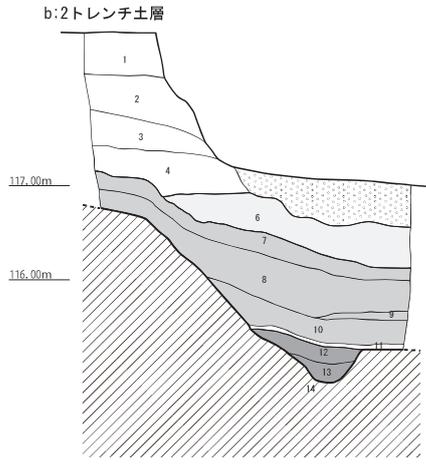
G6区調査区実測図 (1/125) (調査面積12.6㎡)



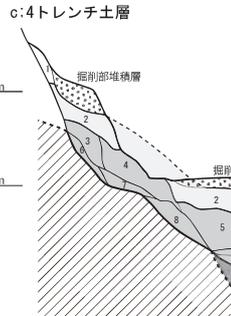
小迫辻原遺跡調査区配置図 (1/4000) 点線範囲史跡



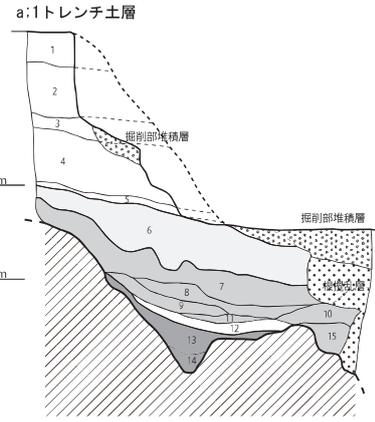
L3・4区調査区実測図 (1/400) (調査面積L3区552㎡、L4区313㎡)



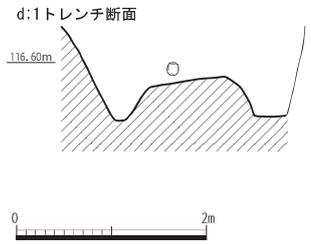
1. 現表土 (1トレンチ層と同一)
 2. 造成土 (1トレンチ層と同一)
 3. 旧表土 (1トレンチ層と同一)
 4. 造成土 (1トレンチ層と同一)
 5. 黒褐色土 (1トレンチ層と同一)
 6. 暗褐色土
 7. 暗褐色土
 8. 暗褐色土
 9. 暗褐色土
 10. 暗褐色土
 11. 黄褐色土、褐色土混
 12. 褐色土、礫を多く含む
 13. 淡褐色土、黄褐色土ブロック混
 14. 明褐色土地山
- ※2~4層は近現代の造成層
5層は2次堆積層か
7~10層は遺構上層の埋土 (土器少量)
11層は整地層か総的に溝を埋めてテラス化
12、13層は溝状遺構埋土



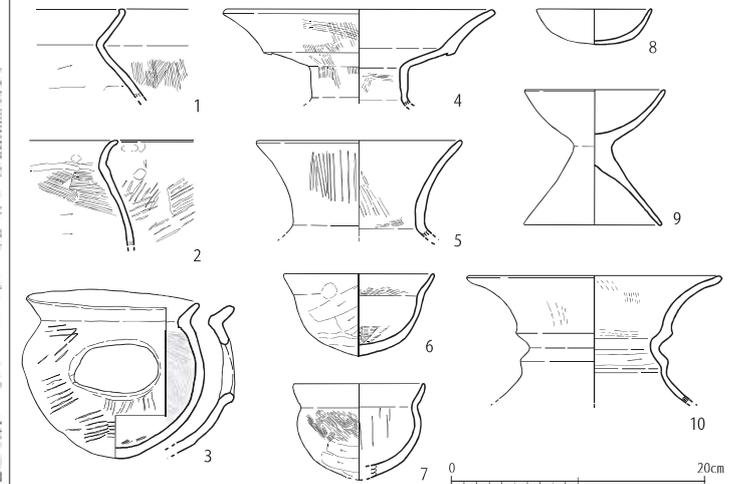
1. 明黄褐色砂質土 (1トレンチ層対応)
 2. 黒褐色土、小型遺物混、しまりなし (1トレンチ層対応)
 3. 淡褐色土、黄色土ブロック混
 4. 淡褐色土
 5. 暗褐色土
 6. 黄褐色土地山ブロック
 7. 淡褐色土、黄褐色土山ブロック少量混
 8. 淡褐色土、黄褐色土山ブロック多量混
 9. 淡褐色土、焼土を含む
 10. 淡褐色土、地山ブロック混、焼土含む
 11. 淡褐色土、しまり有 (1トレンチ層11層に対応か?)
- ※2層が自然流入土
3~10層が遺構上層の埋土 (土器多数出土)
9・10層は1トレンチの11層に対応か
11層は溝状遺構最下層の埋土か



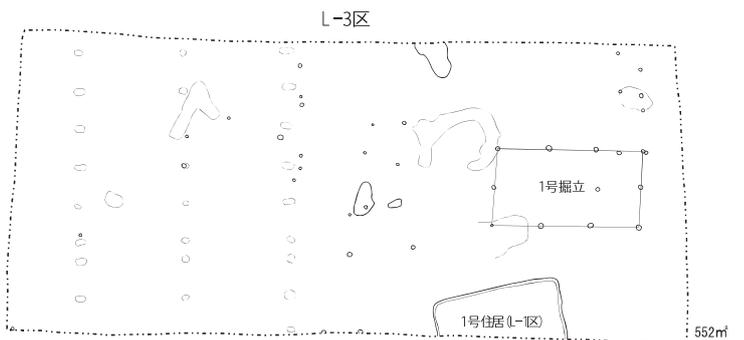
1. 現表土
 2. 造成土
 3. 旧表土
 4. 造成土
 5. 旧表土 (古墳以降)
 6. 黒褐色土
 7. 淡褐色土
 8. 暗褐色土
 9. 暗褐色土
 10. 近い暗褐色土
 11. 焼土層
 12. 淡褐色土
 13. 褐色土 (地山ブロック混)
 14. 淡褐色土 (地山ブロック混)
- ※2~4層は近現代の造成層
5層が古墳~中世の旧表土か
6層は2次堆積層か (赤生土器少量混入)
7~9・10・15層は遺構上層の埋土 (土器多数出土)
12層整地層か、11層は墳土層 (祭祀施設)
13、14層は溝状遺構最下層の埋土 (遺物少量)



G6区トレンチ土層・断面図 (1/40)



G6区1トレンチ出土土器実測図 (1/6)



永山城跡は日田盆地のやや北寄り、花月川右岸に位置する独立丘陵の月隈山にあり、慶長6（1601）年に小川壱岐守光氏によって築かれた城郭である。現在は月隈公園として、市民や観光の憩いの場として利用されている。永山城の政治的な機能は数十年で終わり、城の南側に設置された永山布政所に移ったものの、城を構成する多くの遺構が比較的良く保存されていることから、平成23年度より、史跡指定に向けた調査を実施している。

3次となる本年度の調査は、天守跡と本丸跡、本丸跡北側の石垣、北側の堀及び南東側の曲輪において実施した。

まず、天守跡の調査においては、遺構・遺物共に天守台の存在を推定させるような痕跡は、確認されなかった。しかし、天守跡北側に、これまで未確認であった玉石垣が新たに確認され、本丸よりも一段高い石垣構造物の存在には疑念の余地が無くなった。

本丸跡の調査に関しては、前年度に確認された建物礎石に対応して展開する礎石を確認することはできなかった。

次に本丸北側の搦手口に関しては、瓦の出土は見受けられず、その門の構造の解明にまでは至らなかった。しかし、北側の曲輪から搦手口に到る通路にも高石垣が施されていることが判明した。また平面プランとしては、大手門北側櫓と搦手門を繋ぐ石垣に関しても、2箇所ものシノギ積みによって連結していることが推定されるに至った。

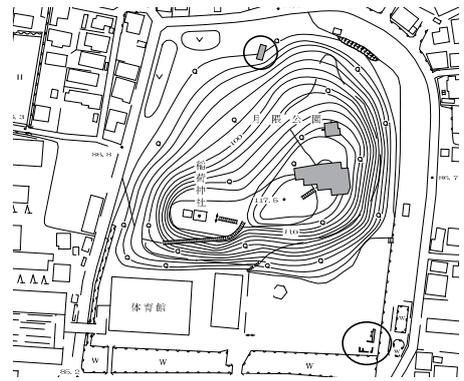
北側の堀に関しては、現在地表面に露出していた石積みの下位にも石積みが存在することが確認された。この石積みはその積み方により、4時期（上段・中段・下段・最下段）に分けられる。このうち、中段が肥後藩預地であった寛文年間、最下段が築城時に近い時期とみられる。また、堀底については現地表面から約3m下であり、箱堀であったことが推定される。

南東側の平場（曲輪）については、櫓や古い時期の石垣など、永山城に関する遺構の確認はできなかった。なお、一部のトレンチからは大量の玉石や瓦が確認された。出土状況としては、乱雑な状況で検出されており、後世に廃棄したものと判断した。ただ、玉石が石垣に使用された可能性もあり、瓦が出土したことも考えれば、今回の調査地付近に古い時期の石垣や建物が存在していた可能性があり、今後の検討課題といえる。

以上、これまでの調査内容に基づいて、平成25年度に県指定史跡への申請を行う予定である。

なお、本原稿の一部は調査を指導していただいた別府大学上野准教授の玉稿（註文献掲載）を参考として掲載したものである。（若杉）

註 土居和幸他編『永山城跡Ⅱ』日田市教育委員会 2013



調査区位置図（1/5,000）



天守跡発掘状況（南から）



天守跡西側石垣検出状況



本丸跡北側石垣検出状況



北側堀石積検出状況



北側堀最下段石積検出状況（北東から）



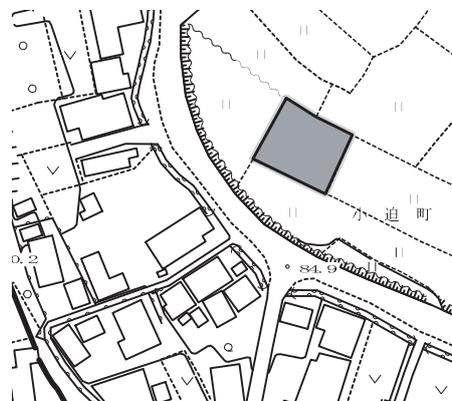
南東側曲輪トレンチ発掘状況（北西から）

調査地は、日田盆地北部の吹上台地と辻原台地の谷部、標高約84mの沖積面に所在する。調査の結果、弥生時代の遺構と考えられる溝状遺構1条と土坑11基が検出された。

溝状遺構は、調査区を東西に横切るように直線に伸びており、幅約0.5m×長さ30m+αで深さは約0.2mを測る。また、緩やかではあるが、西から東に向かって傾斜している。出土遺物は、弥生土器と考えられる遺物が少量出土した。

土坑は、調査区の北側より多く検出されている。それぞれ規模は異なるが、おおよそ縦1.0m×横1.0m前後、深さは約0.4～0.5mで形状は円形ないし楕円を呈している。出土遺物として、弥生土器の壺や甕が出土している。

今回の調査では、地形が北側に向かって下がっており、それに従って調査区の北側で遺構が集中することから、調査区の南側は後世に削平された可能性を考える事ができる。しかし、従来周辺で発見がされなかった弥生時代後期の遺構が確認されたことで、周辺の谷部でも同時代の遺構が展開する可能性が考えられる。（上原）



調査区位置図（1/5,000）



遺構検出状況（写真奥が北側）

調査地は、日田盆地北部の吹上原台地と辻原台地の裾部から谷部の標高約 80m 前後の沖積面に所在する。調査は、朝日地区の圃場整備事業に伴い行われた。調査の範囲は、前年度に行った予備調査で遺跡が確認され、整備によってそれが破壊される恐れのある約 2,500 m²を対象とした。

検出された遺構は、竪穴住居跡 3 棟、竪穴状遺構 1 基、溝状遺構 3 条とピット多数で、調査区の南側よりも北側に向かうにつれて遺構密度が高くなる状況が確認され、南側は大幅な削平を受けたと推測される。

1 号、3 号竪穴住居跡は、ともに東西軸が南北軸より少し長いほぼ正方形を呈しており、4 基の支柱穴が検出され、1 号竪穴住居跡では、一部に柱木が出土している。2 号竪穴住居跡の北側半分は調査区外に伸びる為、その全体は確認できず、カマドの有無も不明であるが、南側に屋内土坑を有する。

1 号竪穴住居跡では北側にカマドが敷設されている。3 号竪穴住居跡では、南北の 2 ヶ所で焼土が確認されており、カマドの可能性を考えることが出来る。その他、3 号竪穴住居跡では 2 条の周溝がほぼ同位置で確認されることから建替えが行われた可能性が考えられる。また、住居跡は南北に伸びる 3 号溝状遺構と接しており、住居に伴う排水施設の可能性がある。これらの住居跡は出土遺物から古墳時代中期（5 世紀中頃～後半）の遺構と考えられ、カマドが敷設される 1 号竪穴住居跡は古墳時代のカマド導入期の住居跡と考えられ、周辺では昨年度に調査が行われた花ノ木、平田遺跡の例に続き 3 例目となる。

その他、調査区を北東から南西にかけて大小の溝が 2 条確認されている。1 号溝は幅約 2.0 m で 2 号溝は幅約 1.0 m で長さはともに 35 m + α で平行に伸びる。両者をつなぐ溝の存在から、水量調整の為の水田用水路と想像される。溝状遺構は出土遺物から古代と推測され、一部古墳時代の遺構と考えられる竪穴状遺構を切っている。また、この溝状遺構の最下層は上層と異なる幅で掘り込まれ、主に 5 世紀代の遺物が出土していることから、古墳時代中期の溝を踏襲して造られたものと考えられる。

調査の結果、この地域では古墳時代中期頃には集落が存在し、その後、古代には古墳時代の溝を踏襲し水田が営まれ、その範囲を古墳時代の住居域まで拡大したという周辺の土地利用の変遷を追うことが出来た。また、近年の調査で徐々に明らかになりつつある 5 世紀中頃のカマド導入期の様相を知る為の資料を得るなど貴重な成果が挙げられたといえる。（上原）



調査区位置図 (1/5,000)



1号竪穴住居跡 カマド検出状況



溝状遺構完掘状況



調査地空中写真（手前が北）

城下町遺跡は、国の伝統的建造物群保存地区に選定されている豆田町や温泉街の隈町を中心とする遺跡である。調査地は豆田町のほぼ中央に位置する。平成23年度実施した1次調査では、発見された建物基礎の玉石が江戸時代の豆田町の町年寄を務めた中村家の旧宅であることが判明し、その重要性から現状保存を行い、防火水槽の設置位置を旧古賀医院の建物の部分とし、御幸通り側へ曳き移転した後に調査に着手した。

調査ではまず、1次調査で検出された上層の遺構面の確認を行った後、防火水槽設置箇所について下層の遺構の確認を行った。

まず上層の面では、1次調査で確認された3号建物跡の基礎となる玉石列の続きが確認された。このうち東側の玉石列は一部攪乱を受けていたものの、2列あることが分かった。当初、建替えや増築の可能性も考えたが、1次調査で確認された1・2号建物の玉石列に比べ、小ぶりであること、また大きさも一定でないことから、主屋でなく、蔵である可能性が高いと判断した^(註)。これにより、建物規模が梁行5～6m、桁行約8mと判明した。

また、調査区東側では4号建物跡とした玉石列の内側から埋桶式と埋糞式のトイレ状遺構が並んだ状態で発見された。時期については、3号建物の整地層のレベルより高い位置にあることから、近代以降のものだと判断した。その他、3号建物よりも古い建物基礎と考えられる玉石列や土坑などが確認された。

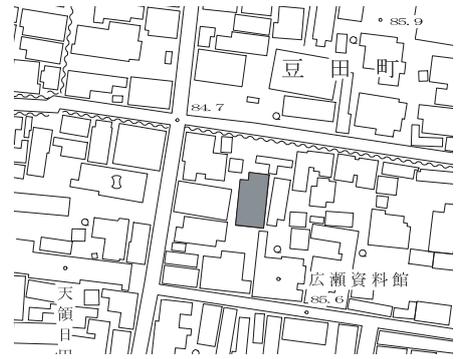
以上、上層の調査状況から、防火水槽を設置するにあたり、3号建物跡の基礎を残し、なおかつ遺構を損なう影響が最も少ない部分について防火水槽の設置箇所とし、その部分を対象として、下層(約85㎡)の確認を行った。その結果、第1面の直下より石組みのカマド1基、さらに約50～60cm下で黄褐色砂礫層の地山を検出、遺構は、土坑6基、ピットが20基ほど確認された。

カマドは東側に焚口を設け、平面形は馬蹄形を呈する。本体は凝灰岩製の切石(直方体)を縦に置き、床石は同様の切石を横置きに配置している。規模は現状で東西約2.1m、南北約1.8m、現状の上面からの深さは約60cmを測る。詳細な時期は判然としないが、他の事例から江戸時代と考えられる。

遺物については、瓦・陶磁器が中心であったが、中でも一ツ巴の軒先瓦は、豆田の草野家、隈の山田家など町年寄や豪商の家でしか用いられていないものであり、中村家も含め、この瓦が町の有力者の家で使われていたということが指摘できそうである。

また、地山を掘りこんだ遺構からは15～16世紀頃とみられる土師質土器が出土し、調査地もしくは周辺における当該期の生活痕跡を窺うことができる。(若杉)

(註)岡山理科大学・江面嗣人教授のご教示による。



遺跡位置図 (1/5,000)



調査区全体写真



4号建物跡 (トイレ状遺構)
発掘状況 (北西から)



カマド発掘状況 (南東から)

慈眼山遺跡は大波羅丘陵西側の沖積地に位置する。本遺跡ではこれまでに9次にわたって発掘調査が行われており、大友姓日田氏による統治が行われていた15世紀～16世紀を中心とした集落跡が確認されている。

調査は桂林小学校敷地内の北東隅において、建設予定面積80㎡を対象に実施した。遺構検出面は現地表面より凡そ約1.5～2m下と深く、土層の堆積状況（西壁中央付近）は上層から、①学校用地造成地の盛土（約1m）、②水田層（2枚、約30cm）、③水田造成時の盛土（約30cm）、④遺構検出面（整地層、約35cm）、⑤地山となっている。

遺構検出面は黄灰褐色系の粘質土であり、これまでに慈眼山遺跡で行われた調査と同様に水分を多く含む土質であった。検出された遺構は掘立柱建物跡1棟、土坑4基、溝状遺構2条と多数のピットである。

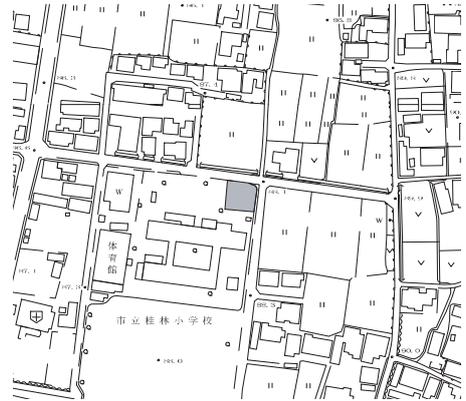
掘立柱建物跡は調査区の南側で確認され、梁行2間（心々距離約3m）、桁行は調査区南側へ展開することが想定されるが、2間以上（調査区内での規模は約3.2m）はあるものと思われる。

なお、掘立柱建物を構成する柱穴以外にも柱木が残っているピットがあったことから柱穴と判断でき、建物がほかにも存在したことがうかがえるが、柱穴の展開を確認することができなかった。

土坑やピットの埋土中からは土師質土器が数枚出土したものがあり、建物廃絶時の祭祀行為に伴うものと考えられる。

なお、桂林小学校敷地内で行った8次調査においては、整地層が2枚確認されたが、本調査区では1枚のみであった。

これらの遺構の時代は出土遺物から15世紀～16世紀にかけてのものと考えられ、慈眼山遺跡における過去の調査で確認されたものと同時期である。（若杉）



調査区位置図（1/5,000）



掘立柱建物跡土器・柱木出土状況



土坑遺物出土状況



ピット遺物出土状況



調査区全体写真（北西から）

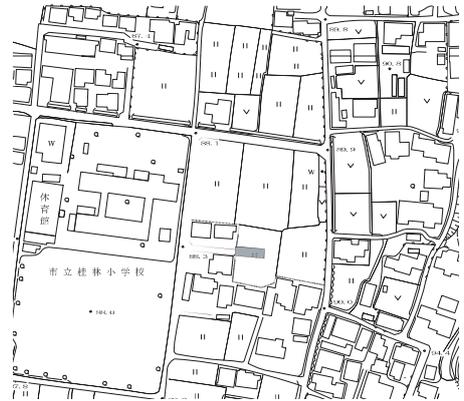
慈眼山遺跡は日田盆地東部の大波羅丘陵裾部に広がる標高約 87 m 前後の沖積地に位置し、中世日田を支配した大蔵一族の居城といわれる慈眼山を北に望む。過去 8 次の発掘調査が行われ、瓦や陶磁器類、鉄製品や武具類などが出土し、広範囲の整地層や主軸を揃えた建物や水路などの存在から、15～16 世紀にかけて、計画的で大規模な造成工事が行われ、武家を中心とした屋敷群が一带に広がっていたと考えられている。

9 次調査にあたる今回は、4 次調査区に隣接した個人住宅地の造成工事に伴って発掘調査を行い、位置指定道路部分を対象として調査区を設定した。調査区は水田であり、現代水田層下部に旧水田層を一枚挟んで淡灰褐色土の遺構面が検出された (b)。検出された遺構は溝 3 条とピット数基である。

1 号溝は東西に流れる溝で、南半が調査区外にかかり、全体像は不明であるが、幅 2 m、深さは 20cm 程を測る。1～8 が 1 号溝より出土した。1～7 は土師質土器坏で、8 は備前焼の播鉢である。2 号溝は東西に流れる溝で幅 1.8m 程を測り、北側に小さな段が付く、深さ 25cm ほどの浅い溝である。上層の 1、2 層と下層の 3 層で質が異なることから、埋没時期に違いがあると思われる (c)。出土遺物はこの層位にほぼ対応させて取り上げた。9～27 の内、9～16 は溝下層、17～27 は上層から出土した。9～15 は土師質土器坏、16 は染付碗、17～20 は土師質土器皿、21～24 は土師質土器坏、25 は備前焼甕、26 は青磁碗、27 は白磁碗である。3 号溝は東西に流れる溝であるが、大半が調査区外であるため詳細不明であるが、深さが 50cm 以上を測る。遺物は土師質土器坏の小破片が出土している。そのほか、ピット 1 から土師器甕の小破片が出土している。

1 号溝は、土師質土器坏が外に大幅に開くもの (1～7) が多く見られ渡邊 V 期、備前焼が間壁氏 IV B 期に相当することから、15 世紀末から 16 世紀初頭頃、2 号溝は坏が外に開くもの (14、23、24) 以外に、底径が広く内湾気味の口縁部のものが見られることから渡邊 VI 期、備前焼が間壁氏 IV B～V 期に相当することから、16 世紀前半と考えられる。これらの溝は隣接する 4 次調査区の 3、9 号溝に繋がると想定され、時期的にも齟齬はないことから、建物を囲む溝と考えたい。

今回の調査は小規模ながらも、この一带に建物を方形に区画する 15 世紀末～16 世紀前半頃の溝が巡っていたことが想定された。これまでの調査成果を追認する新たな知見を得ることが出来た。(渡邊)



遺跡位置図 (1/5,000)

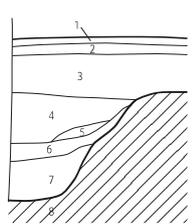


作業風景



調査区全景

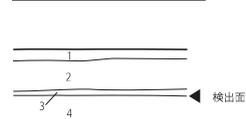
L=87.7m



a; 3号溝土層

1. 淡灰褐色土
2. 黄褐色土 (水田基盤)
3. 灰褐色土
4. 暗灰褐色土
5. 淡黄褐色土
6. 灰褐色土
7. 暗褐色土粘質土
8. 黄褐色砂礫層

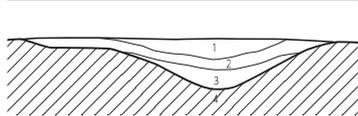
L=87.7m



b; 基本土層

1. 黄褐色土 (水田基盤)
2. 灰褐色土
3. 灰黄褐色土、鉄分沈殿層
4. 淡灰褐色土 (地山)

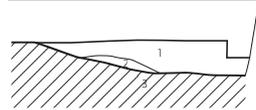
L=87.3m



c; 2号溝土層

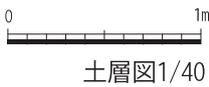
1. 暗灰褐色土、砂性强、鉄分沈殿
2. 暗灰褐色土、粘性強
3. 灰褐色土、粘性強、下層砂礫混
4. 黄褐色砂礫層

L=87.3m

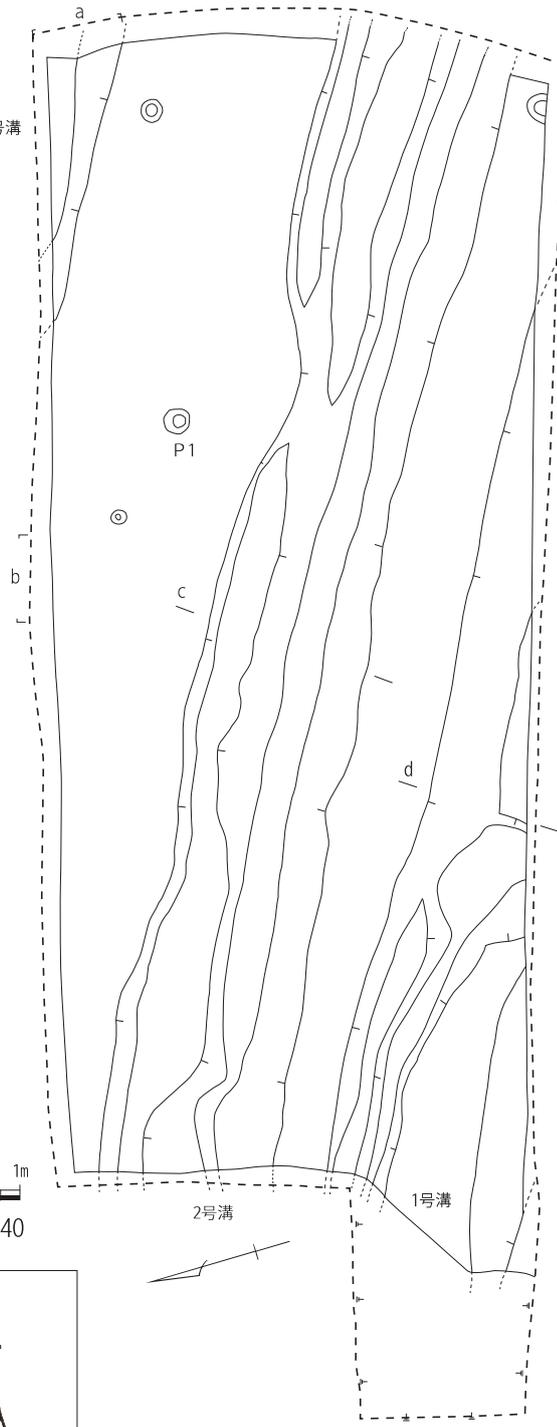


d; 1号溝土層

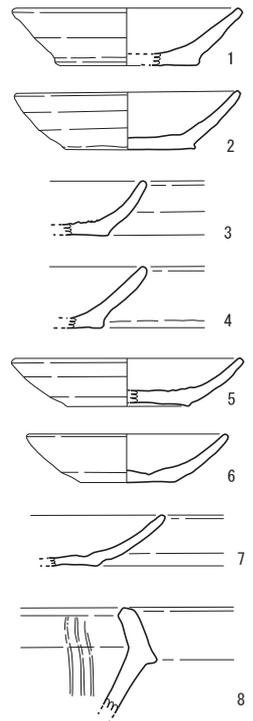
1. 暗灰褐色土
2. 暗灰色砂質土
3. 黄褐色砂礫層 (地山)



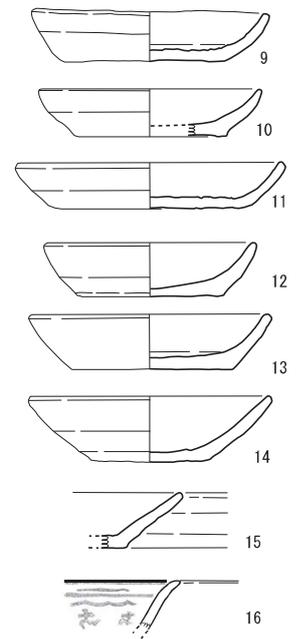
土層図1/40



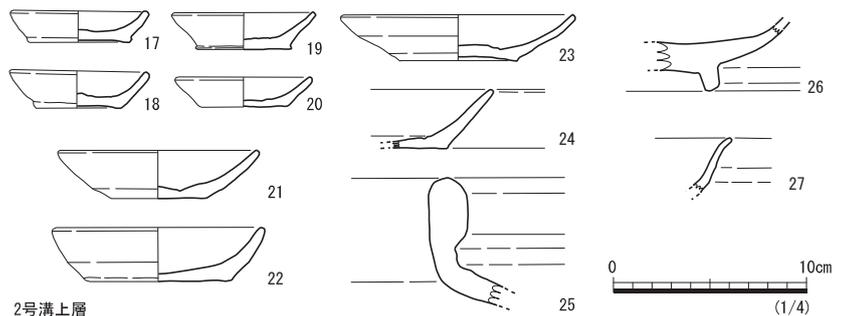
遺構配置図 (1/80)



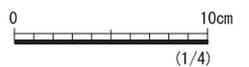
1号溝



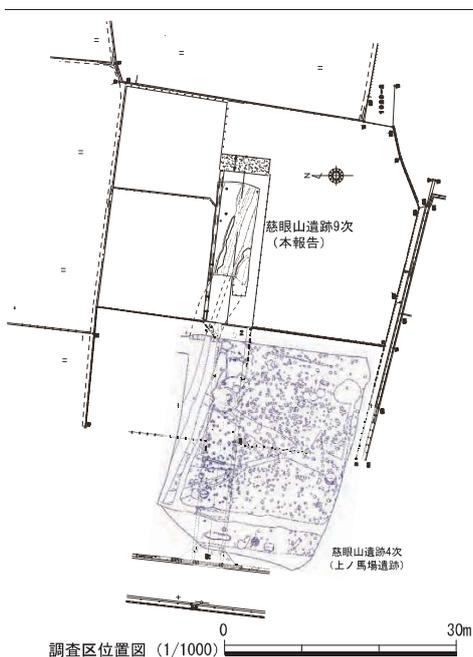
2号溝下層



2号溝上層

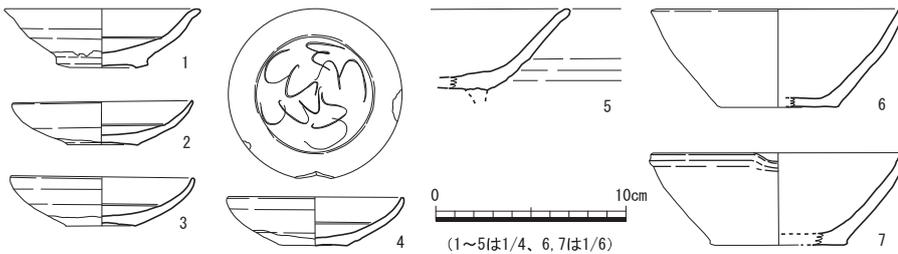


(1/4)



調査区位置図 (1/1000)

遺跡は日田盆地北部を流れる花月川右岸の沖積微高地上に位置する。対象地周辺の調査では、10～12世紀にかけての掘立柱建物群などの遺構が確認されている。調査は宅地分譲地の道路部分にトレンチを設定し、重機で掘下げた。その結果、現地表直下の水田層によって遺構は破壊されていたものの、現代水田層内からまとまって廃棄されたと考えられる陶磁器類などが出土した。下図はこの水田層から出土した遺物である。1～4は白磁皿で、1は灰白色、2～4は淡緑灰白色の釉がかかる。5は高台付土師器杯、6・7は瓦器の播鉢である。白磁皿のうち、1は大宰府分類のⅢ類、2～4はⅥ-2b類に該当すると考えられ、11世紀後半～12世紀前半に相当する。現代水田層からの出土ではあるが、そのセット関係から、周辺で一括して出土した可能性が高く、過去の調査成果とも齟齬はないことから、本来この一帯に集落が広がっていたものと考えられよう。（渡邊）



調査区位置図 (1/5,000)



トレンチ検出状況

遺跡は、豆田町上町通りに現存する、真宗大谷派寺院である長福寺境内地の一角にあたり、寺院本堂は九州最古の江戸時代初期の真宗寺院本堂様式を残す建築物として国の重要文化財指定を受けている。

調査は、長福寺の旧愛児園園舎の改修に伴い実施し、礎石建物1棟、建物遺構、通路状遺構、カマド遺構などを検出し、礎石建物以外の遺構は近代期の所産であることが記録などから判明している。

また礎石建物については、礎石8個を確認し、礎石のなかには墨線や土台痕、火熱跡が認められるものもあり、その配置関係などから梁と桁行きが2間×4間と2間×3間の建物2棟の存在が想定された。

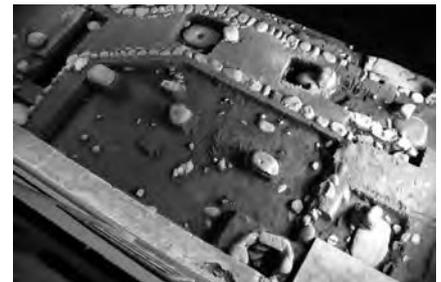
この二つの建物のうち、2間×3間の建物については、古写真による位置関係や伝承などによって、宝暦9年(1759)に修行僧の研学の場として建設され、また文化2年(1805)に廣瀬淡窓がその生涯で最初に借り受けて講義を行った「長福寺学寮跡」と考えられる。（土居）



調査区位置図 (1/2,500)



発掘調査状況 (北側より)



発掘調査状況 (空中より)

ガランドヤ古墳群は三隈川左岸の微高地に存在する3基からなる古墳群で、1号墳及び2号墳が彩色壁画を持つ装飾古墳として国の史跡に指定されている。このうち、3号墳は墳丘を滅失し、石室石材が部分的にしか残存していない状況で、また、周囲を現代墓に囲まれているため、調査等はこれまでにまったく行われておらず、詳細が不明であった。

今回、ガランドヤ古墳群を含む周辺地区一帯に下水道整備が予定され、3号墳前の里道にも下水管が埋設される工事計画が持ち上がったことから、工事着手前に墓道や羨道部、周溝の有無などを確認する調査を実施することとなった。

調査は、下水本管から分岐施工予定の里道全域を対象として、幅1×37mの長大なトレンチを設定し、重機により表土の除去を行った。調査の結果、里道造成時に深さ1m程は大幅に攪乱を受け、特に3号墳の周囲を除く、両側10m程の攪乱は著しく、重機等によって地山である黄褐色砂質土の砂礫層を削平している状態であることが判明した。3号墳の周辺も攪乱を受けており、羨道部ないし玄室等に使用したと考えられる石材が引き倒された状態で多数検出されたものの、前庭部左袖側の一部が残存し、一部地山も残存していることも認められた。

この前庭部は、玄室から外にハの字状に開き、緩やかに落ち込んでいた。床面からは墓前祭祀に用いたと思われる土器類が出土し、玄室に近い箇所からは閉塞石と思われる人頭大の河原石が出土した。そのほか、北側のやや離れた箇所からは、落ち込みが認められたが、明確な周溝とは断定できなかった。

前庭部床面からは、土師器などが原位置を留めた状態で出土し、2～5がこの場所、1はこの周辺の攪乱土中から出土した。1は須恵器高坏、2は鉢、3は高坏、4は小型の高坏、5は長頸壺で、2～5の土師器はいずれも精製の良品である。これら出土遺物から6世紀後半のTK43頃の時期が考えられる。そのほか、引き倒された石室石材のなかには赤色顔料が塗布されている大石も発見された。

以上の調査結果から、この古墳は6世紀後半頃の1号墳と同時期のもので、前庭部の位置などから単室で10～15mほどの古墳と考えられた。また、部分的な調査で、推測の域を出ないものの、赤彩石材の存在から装飾古墳の可能性も想定される。このような調査成果が得られたことから、事業課と協議し、この地点での下水道管理設工事を中止して、別ルートで調整することとなり、現地を真砂土で保護して現状復旧することとした。なお、併せて実施した本管部分の調査では、現代の攪乱が著しく筑後軌道などの遺跡の痕跡は認められず、工事にあたって問題ないと判断した。（渡邊）



遺跡位置図 (1/2,500)



トレンチ全景



前庭部土器出土状況



赤彩石材出土状況

長者原遺跡は日田盆地を東西に貫流する三隈川左岸の原台地に位置する遺跡で、これまでに旧石器時代から近世に至る各時代の遺構・遺物が確認されている。

本遺跡ではこれまでに7次に亘り発掘調査が実施されており、弥生時代後期の環濠や古墳時代中期の墓地、同中～後期の集落跡が確認されている。

今回の調査原因となった下水道工事に関しては、通常、文化財保護法第94条第1項の通知により、慎重工事の判断を行い、調査に至ることはこれまで日田市においては事例がなかった。しかし、今回の調査地は平成22年度に実施した7次調査地に隣接し、その際に確認された石棺系竪穴式石室の一部が工事予定地にかかっている可能性が高いことから、主管課である下水道課に対して、工事中に発見された際には工事を中断して、文化財保護課への連絡を依頼していた。

その後、平成24年11月27日に下水道課より連絡があり、担当者が現地で確認した結果、石棺系竪穴式石室と考えられる石積みが露出していたため、急遽、その場で協議を行い、他の箇所の工事を行っている間に確認調査を行うこととなった。その直後、さらに南東側で1基確認されたことから、合わせて2基の石棺系竪穴式石室の調査を実施することとなった。

1号墓は蓋石と控え積みの割石が検出されたが、平成22年度の7次調査で確認された墓と同一のものと考えられる。主軸はN-85°-Eにとり、墓坑は蓋石よりおよそ80cm外側から掘り込むが、墓坑全体の規模は不明である。

規模は蓋石の南側長側辺で約0.5m、蓋短辺で約0.9mを測る。7次調査で確認された墓と規模を合わせると長軸は約2.5mとなる。なお、遺物は出土しなかった。

2号墓は1号墓の南東側約10m付近で確認された。蓋石と控え積みの一部を検出したのみである。主軸はN-86°-Eにとり掘り方は控え積みのすぐ外側から掘り込まれているのが確認できたが、一部を工事により削平を受けていた。また蓋石部分での規模は長軸で約0.3m、短軸で約1.1m+ α を測る。また1号墓と同様に遺物は出土しなかった。

以上、今回の調査で確認された2基の墓については、4次調査で確認された墓と同種のものであり、遺物は出土していないものの、古墳時代中期中頃以降のものと考えられる。また、この時期の墓域が南側に広がっていたことを確認できたことも大きな発見といえよう。

なお、今回確認された墓については、下水道課との協議の結果、下水道路線を若干ずらして遺構本体が保存できるようにすることとなった。(若杉)



調査区位置図 (1/5,000)



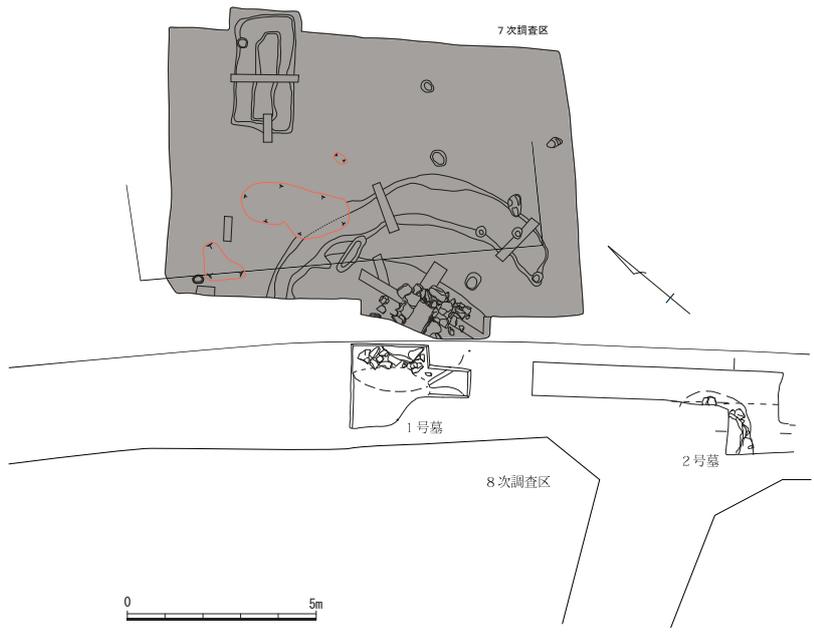
1号墓発掘状況(西から)



1号墓発掘状況(北西から)



1号墓西側土層堆積状況



遺構配置図 (1/200)



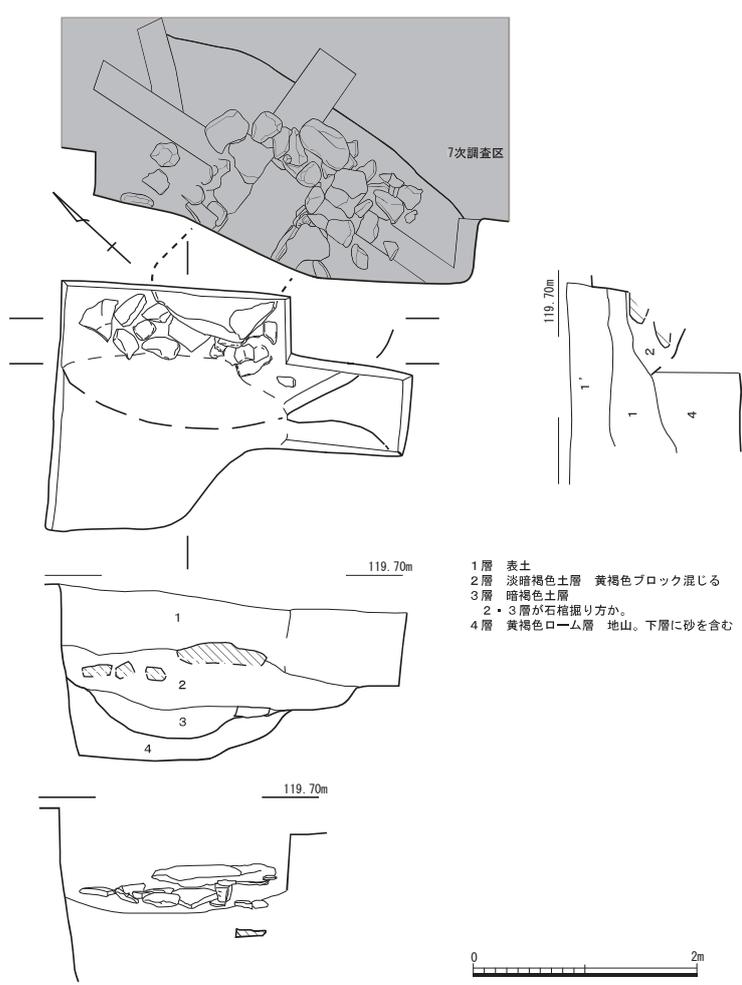
1号墓北側土層堆積状況



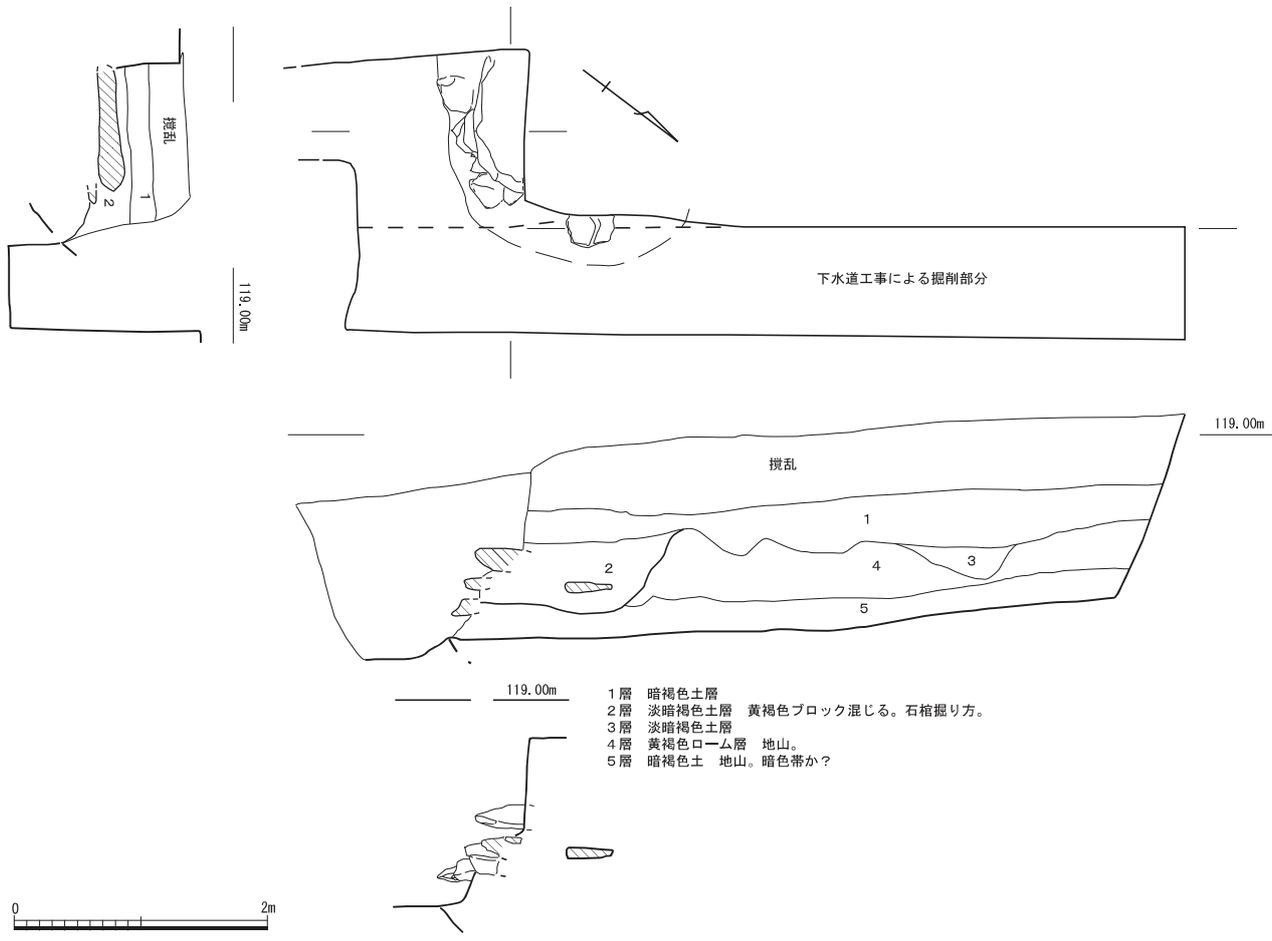
2号墓発掘状況 (南東から)



2号墓発掘状況 (北東から)



1号墓実測図 (1/60)



2号墓実測図 (1/60)

咸宜園跡は文化 14 年（1817）に廣瀬淡窓が開いた私塾で、明治 30 年に塾が廃止となるまでに全国から約 5,000 人の門弟が学んでおり、昭和 7 年に国の史跡指定を受けている。平成 15 年度からは史跡内の整備事業を行っている。

平成 24 年度は、秋風庵周辺の園路整備と排水路整備を実施し、工事に伴い、現況地盤面を掘削する恐れがある箇所について立会調査を実施した。

調査は、排水路及び集水枡の設置予定箇所のうち、過去の調査で判明している咸宜園時代の遺構面及び下層の中世遺構面を損傷する箇所と路盤工事の整備レベルを決定するためのトレンチで、計 12 箇所約 118 m²を測る。これらの工事では咸宜園時代の遺構を損傷する箇所はなく、江戸時代以前の遺構等を損傷する箇所については、記録図化を行った。

なかでも、集水枡設置工事立会箇所では、2号井戸から西側へと伸びる石組の水路状遺構の続きが確認された。三和土で丁寧に目貼りされた石組水路で、西端は大正期の道路側溝によって攪乱を受けていたが、咸宜園時代の西側境界溝へと繋がっていたものと考えられた。そこで、この箇所については、遺構保護のため、位置を変更して施工して遺跡を保護することになった。（渡邊）



調査区位置図 (1/2,500)



水路状遺構

II 災害復旧に伴う測量調査

石坂石畳道は江戸時代の日田代官所と中津・宇佐四日市の陣屋を結ぶ往還の一部である。現在の市ノ瀬町から伏木町の間、比高差約 200 m を結ぶ全長約 1.26 km の道で、大小 16 回道を折り曲げて、坂道をつけている。この道は隈町の掛屋である京屋山田作兵衛常良が周防の石工を招き、工事を行ったもので、嘉永 3 (1850) 年に完成した。この工事の経緯については、廣瀬淡窓の撰による「石坂修治碑」が残されており、建設の経緯と石畳が残る県内唯一の例として、昭和 62 年に県指定史跡に指定されている。

今回の測量調査の原因は、平成 24 年 7 月 3 日と 14 日に日田市などを襲った調査区域に降った大雨(100.000) 石坂石畳道の石積みの崩壊、崖面の土砂崩れなどが発生したことによる。その後、復旧工事を行うことになったため、現状の崩壊状況を測量したものである。

測量は崩壊部分を挟んで、長さ約 9.5 m、比高差約 1.2 m の間について行った。以下、所見を述べる。

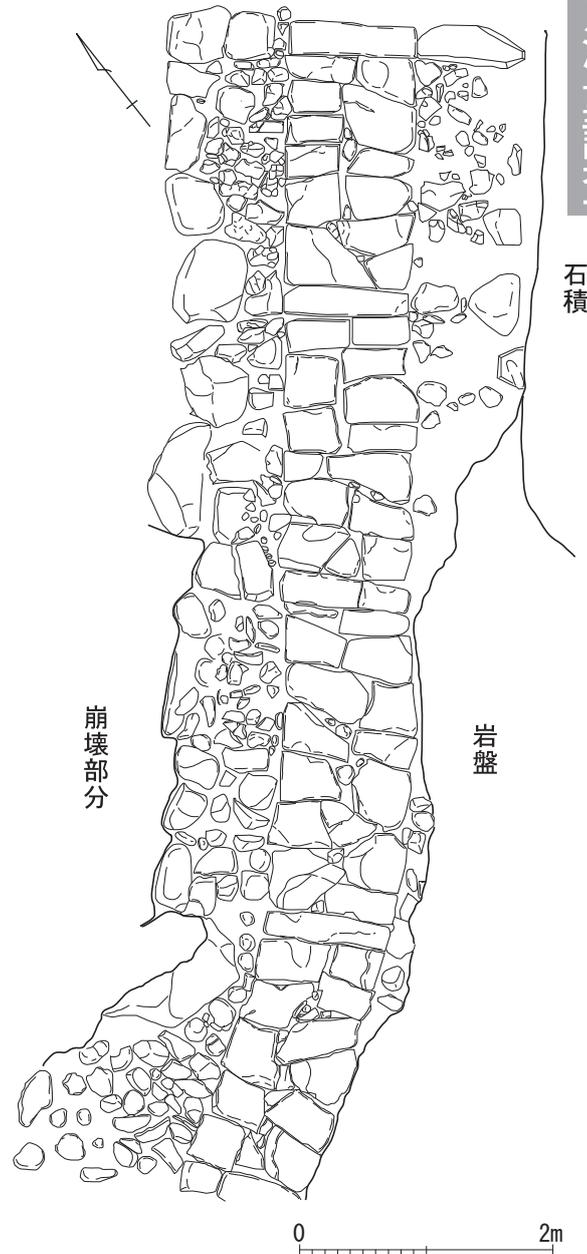
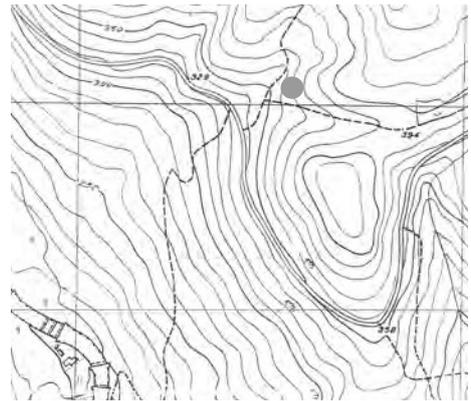
石畳の幅は約 2.2 m で、中央部分に約 1 m の切り石を基本的には 2 列にわたり敷くが、急勾配を緩和するため、約 2 ~ 2.5 m 置きに長さ約 1 m の切り石を 1 個敷き、階段状にしている。中央部分の左右両側には約 60 cm の幅に切り石や玉石を敷く構造となっている。このような敷き方は基本的なものであり、場所によっては自然の岩盤を利用している部分も見受けられる。(若杉)



測量部分写真 (復旧前)



測量部分写真 (復旧後)



測量平面図 (1/60)

Ⅲ 平成 24 年度の埋蔵文化財普及・啓発事業

(1) 埋蔵文化財センター運営事業

平成 15 年度より普及啓発事業を中心とした埋蔵文化財センター運営事業を継続して行っており、今年度は発掘調査速報展及び市民を対象とした考古学講座、体験教室、特別展示会などを実施した。

1. 平成 24 年度埋蔵文化財発掘調査速報展（7 月 9 日～9 月 28 日）

平成 24 年度に市内で行った発掘調査の成果をいち早く公開するため遺物・写真パネルの展示を行い、市内外から 126 人の来館者があった。

○埋蔵文化財センター見学者数

月	総見学者数	団体	個人	備考
4 月	21	0	21	
5 月	5	0	5	
6 月	68	63	5	
7 月	59	0	59	速報展（7/9～9/28）見学者数 147 名
8 月	90	30	60	
9 月	65	56	9	
10 月	27	0	27	
11 月	28	20	8	
12 月	2	0	2	
1 月	84	82	2	
2 月	14	0	14	
3 月	83	68	15	
計	546	319	227	



速報展見学風景



考古学講座第 1 講（公開講座）講義風景

【主な来訪団体】

桂林小学校（47 名：6 月） 考古学講座 4 講（38 名：9 月）
 朝日小学校（16 名：6 月） 石井小学校（20 名：11 月）
 古文書講座（18 名：9 月） 光岡小学校（82 名：1 月）
 鎌手小学校（68 名：3 月）

2. 考古学講座「タイムトリップひた Vol.10」

市民を対象に、「考古学」や「埋蔵文化財」を通して「地域の歴史」に対する関心を深めてもらうために市内外から講師を招き、全 5 回の講座を実施した。また、本年度は講座開講 10 周年にあたり記念のバスツアーを実施している。

月日	回数	内容	講師	受講人数
0918	第 1 講	日田代官と天領日田 （公開講座、一般参加者：98 名）	別府大学学長 豊田 寛三氏	56
1016	第 2 講	永山城と豆田町の成立 （講義・現地説明会）	別府大学助教 上野 淳也氏	38
1120	第 3 講	肥前名護屋城と文禄・慶長の役 （名護屋城ほか見学バスツアー）	名護屋城博物館職員 市川 浩文氏	47
1211	第 4 講	豊臣秀吉の九州襲来と日隈城・永山城 （講義）	石垣技術研究機構代表 高瀬 哲郎氏	37
0129	第 5 講	島原の乱、その足跡を探る （原城ほか見学 1泊 2日バスツアー）	南島原市教育委員会職員 松本 慎二氏	35



第 3 講バスツアー風景



第 5 講バスツアー風景

3. 体験教室

楽しみながら先人の知恵や技に触れ、埋蔵文化財についての理解を深めてもらうための機会を提供する目的から、「火熾し体験・発掘体験・整理作業見学・展示見学・考古の話」などの体験メニューを各団体からの申込みにより実施した。

月日	団体名	内容	場所	参加人数
0601	桂林小学校	展示見学、考古の話、ガランドヤ古墳見学	埋蔵文化財センター、現地	47
0613	朝日小学校	展示見学、考古の話、発掘体験	埋蔵文化財センター	16
1021	光岡小学校	勾玉づくり	光岡小学校	23
1109	石井小学校	展示見学	埋蔵文化財センター	21
0215	鎌手小学校	展示見学、勾玉づくり	埋蔵文化財センター	57



桂林小学校（考古の話）



朝日小学校（発掘体験）



光岡小学校（勾玉づくり）



石井小学校（展示見学）



鎌手小学校（勾玉づくり）

（2）普及啓発事業

遺跡の調査内容を広く市民に公開する為、現地説明会、講師の派遣や調査報告書の作成などを行った。

1. 現地説明会

①永山城跡 3次調査

開催日：平成 24 年 8 月 25 日（土） 場 所：永山城跡（月隈公園内） 参加者：54 人

内 容：前年度より引き続き重要遺跡の確認調査を目的として発掘調査を行っている永山城跡の調査内容を広く市民の方々に周知する為に現地説明会を行った。別府大学とともに解説を行い、説明会には地元の方をはじめ市内外から多くの見学者が参加した。



②本村遺跡 5次調査

開催日：平成 24 年 10 月 30 日（火） 場 所：小迫町（朝日地区圃場整備地内） 参加者：40 人
内 容：朝日地区の圃場整備事業に伴う本村遺跡の調査で発見された遺構について地元の方を対象にして現地案内会を開催した。案内会には地元の朝日小学校の六年生をはじめ多くの人々が参加した。



③城下町遺跡 3次調査

開催日：平成 24 年 11 月 4 日（土） 場 所：豆田町 5-13（長福寺境内） 参加者：66 人
内 容：長福寺の境内に所在する旧愛児園舎改築に伴い行われた発掘調査の成果を広く市民に周知する為に現地説明会を開催した。現場は、廣瀬淡窓が門下生と寝食を共にし、教育者としての第一歩を歩いた長福寺の学寮跡であること、そこに残る礎石の解説などを行った。説明会には観光客などを多くの見学者が参加した。



④城下町遺跡 2次調査

開催日：平成 24 年 12 月 9 日（日） 場 所：豆田町 123 - 1（旧古賀病院跡） 参加者：23 人
内 容：豆田町において本格的な発掘調査となる城下町遺跡の現地説明会を昨年度に引き続き行った。説明会では、前年度に紹介した玉石列の続きやカマド跡などの解説を行った。地元の方を中心に観光客など多くの見学者が参加した。



2. 講師派遣・依頼

講師の依頼件数は21件で、考古学講座に伴う依頼は5件、講話などの派遣は16件であった。

月日	区分	派遣・依頼先	内容	講師	参加人数
0521	派遣	光岡小学校	出張講話	上原、井上	81
0525	派遣	三芳小学校	三芳地域や日田の歴史について	若杉、井上	62
0528	派遣	五馬中学校	五馬地区の文化財について	若杉、井上	12
0605	派遣	大明小学校	火熾し体験	上原、井上	15
0606	派遣	三芳小学校	法恩寺山古墳群見学	上原、井上	64
0607	派遣	三芳小学校	法恩寺山古墳群見学	若杉、井上	19
0607	派遣	三芳小学校	法恩寺山古墳群見学	渡邊、井上	6
0612	派遣	古代朝鮮文化を考える会	中九州の装飾古墳について	若杉	30
0614	派遣	いつま小学校	宇土古墳見学	若杉、井上	14
0622	派遣	五和地区の歴史に関する話	五和地区の歴史に関する話	渡邊、井上	28
0623	依頼	別府大学	考古学講座第1講『日田代官と天領ひた』	別府大学学長 豊田 寛氏	154
0729	依頼	別府大学	考古学講座第2講『永山城と豆田町の成立』	別府大学助教授 上野淳也氏	38
0818	依頼	名護屋城博物館	考古学講座第3講『名護屋城と文禄慶長の役』名護屋城ほか見学バスツアー	名護屋城博物館職員 市川浩文氏 文化財保護課職員	47
0821	派遣	朝日小学校	教職員研修	上原、井上	9
0909	依頼	石垣技術研究機構	考古学講座第4講『豊臣秀吉の九州来襲と日隈城・永山城』	石垣技術研究機構代表 高瀬 哲郎氏	37
0929	派遣	三芳公民館	法恩寺山古墳群見学	上原、井上	15
1021	派遣	光岡小学校	勾玉づくり	若杉、井上	37
1026	依頼	南島原市教委	考古学講座第5講『高原の乱、その足跡を探る』原城ほか見学1泊2日バスツアー	南島原市教委職員松本 慎二氏 文化財保護課職員	35
1027					
0205	派遣	高瀬公民館	講話及び惣田塚古墳の見学	上原、井上	45
0216	派遣	日隈公民館	日田市の歴史について、火熾し体験	行時、上原、井上	14
0227					
0306	派遣	五和公民館	五和歴史ウォークの中での石井小児童によるガイドの補助	渡邊、井上	5
0317					



光岡小学校（考古の話）



三芳小学校（法恩寺山古墳群見学）



五馬中学校（出張講話）



いつま小学校（宇土遺跡3号墓見学）



大明小学校（火熾し体験）



高瀬小学校（考古の話）



朝日小学校（教職員研修）



日隈公民館（火熾し体験）



五和公民館（歴史ウォークガイド補助）

3、刊行物

	書名	巻次	体裁	総頁	内容
1	平成 23 年度 (2011 年度) 日田市埋蔵文化財年報	-	A4	28	平成 23 年度に日田市教育委員会が行った埋蔵文化財調査事業、埋蔵文化財保護事業、普及啓発事業などを所収。
2	ノヲガケ遺跡	105	A4	58	農道建設に伴う埋蔵文化財調査の成果を所収。縄文時代前期以降の土坑が 8 基（内、落とし穴状遺構が 7 基）検出される。
3	花ノ木遺跡 2 次	106	A4	28	市道改良工事に伴う埋蔵文化財調査の成果を所収。当地域で類例の少ない古墳時代中期中頃のカマドを敷設する住居が検出されている。
4	平島遺跡 - E 地点の調査報告 -	107	A4	54	畑地造成に伴う埋蔵文化財調査の成果を所収。弥生時代後期後半～古墳時代はじめの成人用甕棺墓などが確認される。
5	朝日の遺跡 I 平田遺跡・尾部田遺跡 2 次	108	A4	66	圃場整備に伴う埋蔵文化財調査の成果を所収。平田遺跡では、奈良時代の掘立柱建物群が軸を揃えて配置されていることが確認された。尾部田遺跡 2 次調査では、各時代の遺物が確認され、市内で 2 例目となる温石が出土している。
6	長迫遺跡 A 地点	109	A4	68	ウッドコンビナート建設地内で行われた発掘調査の成果を所収。古墳時代後期～平安時代の集落跡と考えられ、当該時期の集落配置に特徴がある。また、鉄生産をうかがわせる遺構も確認されている。
7	吹上 V - 1・2 次調査の記録 -	110	A4	146	農業基盤整備に伴う埋蔵文化財調査の成果を所収。弥生時代全時期を通じて継続する生活遺構と副葬品を有する墳墓群が確認されている。
8	永山城跡 II - 調査概報 -	-	A4	120	平成 20 年度～平成 24 年度までに日田市教育委員会が行った埋蔵文化財調査の成果を所収。また、発掘調査以外に文献資料や永山城周辺の石造物の調査成果も所収している。

(3) 文化財の指定

国史跡『廣瀬淡窓旧宅及び墓』

廣瀬淡窓旧宅は、日田市豆田町 116 番地ほかにあり、文化 14 年（1817）に私塾咸宜園を開塾し、全国からおおよそ 5 千人の門下生を輩出した教育者廣瀬淡窓の生家である。

魚町通りを挟んで南北に分かれている旧宅を淡窓は、北を「北家」、南を「南家」と呼び分け、「北家」には主屋や新座敷、土蔵 3 棟があり、主に生活空間と商業空間、「南家」は南主屋や隠宅、土蔵 2 棟があり、廣瀬家親族の住居などとして利用されてきた。

この旧宅には、現存する建物 10 棟のうち 9 棟に、建築年代を特定することができる棟木墨書や棟札が残っており、とくに通りに面した主屋や南主屋の外壁は、廣瀬家の伝統的な家訓である「質素儉約」にもとづいた「荒壁（中塗）」仕上げとしている。

さらに、新座敷では能楽や三味線が披露され、隠宅では茶稽古や詩が詠まれるなど、幕末期の文化的、芸能的な場として利用され、淡窓が咸宜園に転居して後は頻繁に旧宅を訪れ、その際に淡窓が歩いた路地も当時のままの様子で残っている。

このように淡窓旧宅は、淡窓の教育心や芸能を育み、支えてきた歴史と、淡窓が廣瀬家の家風を共有しながら歩み、自身の思想形成に大きな影響を与えてきたことが知られることから、平成 25 年 3 月 27 日に国の史跡指定を受けている「廣瀬淡窓墓」（別名 長生園）に、新たに「廣瀬淡窓旧宅」が追加指定され、「廣瀬淡窓旧宅及び墓」と名称変更された。



廣瀬淡窓旧宅〔枠内が追加指定地〕の空中写真（南から）

(4) 埋蔵文化財の保存修理

重要文化財大分県吹上遺跡出土品の保存修理

事業は、紀元前2世紀から1世紀頃にあたる弥生時代中期後半の日田地方の有力者の墳墓群の副葬品である重要文化財「大分県吹上遺跡出土品（平成22年6月29日指定）」577点の修理を9年に亘って計画的に行うものである。平成23年度に引き続き、平成24年度は1号木棺墓出土銅剣（1点）と5号甕棺墓出土イモガイ貝輪（17点）、4号甕棺墓出土ガラス管玉（525点）の計543点の修理作業を実施した。

1号木棺墓出土銅剣は、肉眼では確認出来ないような微細な亀裂が多数入り、破損の危険性が非常に高く、刃部には錆の著しい進行が認められる状態であった。5号甕棺墓出土のイモガイ製貝輪は、甕棺内部で雨水の侵食を繰り返していたため、半分に欠損しているものが多く、表面や破損面の風化が著しく、非常にもろい状態であった。また、4号甕棺墓出土のガラス管玉は、風化によりもろい状態で、また微細であるため破碎されたものも多数確認されていた。そこで、国庫補助事業及び公益財団法人住友財団の助成（銅剣とイモガイ製貝輪のみ）を受けて修理作業を行った。作業には財団法人元興寺文化財研究所があたった。

銅剣はレントゲン撮影により微細な亀裂の位置を確認し、アクリル樹脂を減圧浸透させて強化を図った。イモガイ貝輪は全体のもろさを補うため、アクリル樹脂溶液を滴下させて強度を増し、特にもろい部分にはエポキシ樹脂を充填して補強し、ガラス管玉はアクリル樹脂溶液に含浸し、破損しているものに関しては可能な限り復元した。また、銅剣及びイモガイ貝輪は安定した保管のために必要な専用の桐箱を作成し、銅剣・イモガイ貝輪の形状に合わせて収納できるものとした。

以上の作業の結果、従来の不安定な状態は大幅に改善された。今後は安定化の状態を見ながら、展示等への活用を図っていく予定である。



III 埋蔵文化財
普及・啓発事業

(5) その他（資料掲載・貸出・閲覧・受領図書）

今年度、埋蔵文化財関連資料の掲載依頼は5件、貸出は3件で資料の閲覧は2件であった。

1、資料掲載

受付月日	区分	資料名	借用・貸出先	目的
0427	申請	吹上遺跡ガラス管玉写真	小寺智津子	出版物掲載
0507	申請	平成23年度刊行報告書及び平成22年度日田市埋蔵文化財年報データ	日田インターネット協議会	ホームページ掲載
0528	申請	平成22年度日田市埋蔵文化財年報掲載写真	日田考古学同好会	会報掲載
0613	申請	中村家住宅遺構写真	株式会社ジャパン通信情報センター	文化財発掘出土情報に掲載
0623	申請	吹上遺跡5号甕棺出土状況写真	大阪府立近つ飛鳥博物館	企画展示パネル掲載

2、資料貸出

受付月日	区分	資料名	借用・貸出先	目的
1012	貸出	石庖丁レプリカ 4点	個人	古代米稻刈り使用
1019	貸出	火おこし道具5セット	日田市立高瀬小学校	クラブ活動使用
0308	貸出	宇土遺跡 投弾 2点	大分県立歴史博物館	展示

3、資料閲覧

期間	資料名	内容	申請者	目的
0411	尾漕2号墳出土 素環頭太刀	実測・計測メモ・写真類	慶北大学校考古人類学科 金宇大氏	調査研究のため
1016～ 18、22	ガランドヤ古墳出土馬具類 法恩寺山古墳群出土馬具類	実測・計測メモ・写真類	朝日新聞社文化くらし部 宮代栄一氏	調査研究のため

4、受領図書

①平成24年度に各団体から寄贈を受けた図書

総数 662 冊。（内訳：文化財機関 19 冊、大学 46 冊、博物館 52 冊、都道府県教育委員会 126 冊、市町村教育委員会 407 冊、その他 12 冊）

②平成24年度購入図書

総数 40 冊



平成24年度（2012年）
日田市埋蔵文化財年報

発行日 平成25年7月31日
編集 日田市埋蔵文化財センター
日田市教育庁文化財保護課
〒877-0077
大分県日田市南友田町516-1
TEL. 0973-24-7171
発行 日田市教育委員会
〒877-8801
大分県日田市田島2-6-1
TEL. 0973-23-3111
印刷 株式会社インデバイス